

Panasonic

テレビ会議システム

多地点会議制御装置

品番 WG-MP104

取扱説明書

この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



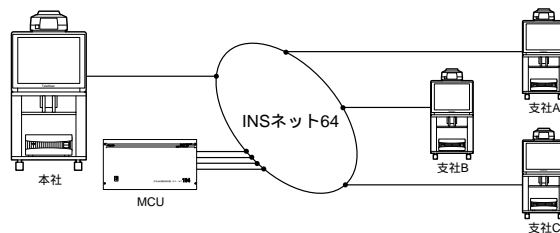
上手に使って上手に節電

このたびは、パナソニック 多地点会議制御装置をお買い上げいただきまことにありがとうございました。

概要

テレビ会議システム テレミート100に多地点会議制御装置WG-MP104（以下MCU）を追加することによって、4地点（1）を結びテレビ会議（2）を行うことができます。

- (1) 標準は4地点までです。5地点以上を結びテレビ会議を行うには、別売品の多地点会議増設ユニットWG-MA100が必要です。
- (2) 接続相手は、AVコーデックWG-AV100を搭載したテレミート100システムに限られます。その他の機種については、販売店にご相談ください。



特長

テレミート100にMCUを追加することによって、以下の機能を使用できるようになります。

INSネット64(1～3回線)を用いて多地点を結び会議ができます。

画面分割ユニットWG-MQ100(オプション)をMCUに接続する

ことによって、4地点の映像を同時に表示できます。

会議の形態に合わせてフリートーキング、端末リクエスト、同報、簡易同報の4つのモードが選択できます。

フリートーキング

発言地点の映像に自動的に切り換えます。議長制御、同報へ移行できます。音声は、全ての会議参加地点の音声をミキシングして出力します。

端末リクエスト

端末からのリクエストによって映像を切り換えます。音声は、全ての会議参加地点の音声をミキシングして出力します。

同報、簡易同報

朝会や研修などの親地点の映像(音声含む)を会議参加地点に同時に分配します。送信元では、他の地点の映像を選択できます。

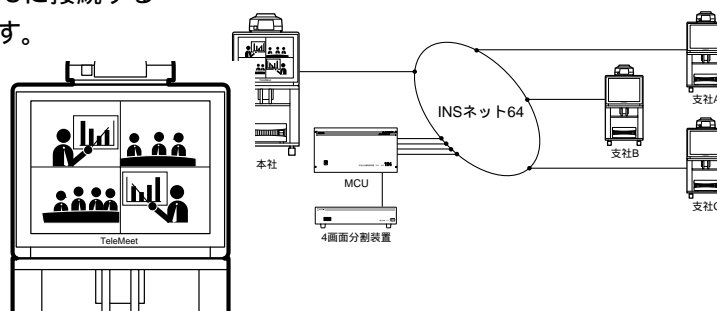
MCUから電話をかけるだけで、自由に会議に参加させたり、退席させたりできます。また、ホスト及び親、議長端末から任意の会議参加地点を退席させることもできます。

会議中にホストや親、議長端末を交代できます。

会議開催日時をあらかじめ予約することができます。予約した内容を後で変更したり取り消したりすることができます。

ホストと会議参加地点間または、会議参加地点間だけで会話をすることができます(秘話設定)。

MCU付属のMS-WindowsアプリケーションプログラムでMCUの設定・テレビ会議の操作ができます。



本取扱説明書を読む前に

本取扱説明書では、MCUとパソコンによるテレビ会議のしかたを説明しています。テレミート100システムによる多地点テレビ会議の方法については、「テレビ会議システム テレミート100 取扱説明書」をお読みください。

Microsoftとそのロゴ、MS、MS-DOSは、米国マイクロソフト社の登録商標です。Windowsは、米国マイクロソフト社の商標です。

もくじ

安全上のご注意	4	準備	10
各部の名前と働き	6	パソコンの操作	11
多地点制御装置WG-MP104	6	マウスの操作方法(項目の選択).....	11
前面.....	7	プログラムの実行方法.....	11
後面.....	7	画面の操作.....	12
オプション機器	8	漢字の入力方法について	12
用語について	9		
多地点会議を始める前に	10		
<hr/>			
操作のしかた			
電源を入れる	14		
プログラムを起動する	14		
会議の開催(即時会議)	15		
会議の終了.....	17		
パソコンによる会議の強制終了	17		
電源を切る	18		
<hr/>			
便利な機能		会議参加メンバーの退席(端末の削除).....	26
パターン同報、パターン簡易同報会議の開催	20	ホスト端末の変更	26
簡易同報会議の開催	21	議長 / 同報親端末の変更	26
会議の予約	22	会議状況の確認.....	27
会議中の操作.....	25	料金管理	28
「参加端末」画面の表示	25	リモートによるMCUの操作	29
会議参加メンバーの追加(端末の追加).....	25		
<hr/>			
MCUコントロールプログラムの組			
み込み.....	32	る場合	46
登録のしかた	34	ホスト端末切断時の会議終了	46
電話番号の登録.....	34	同報親端末、議長端末	
会議の登録	36	切断時の会議終了	46
同報 / 簡易同報パターンの登録	40	端末途中参加時の参加端末への映像1	
環境設定のしかた	42	(フリーターキング)	47
設定を始める前に	42	端末途中参加時の参加端末への映像2	
モード設定	43	(端末リクエスト)	47
工場出荷時の設定	43	端末途中参加時の他の端末への映像1	
表示設定	43	(フリーターキング)	47
電源立ち上げ時の会議モード		端末途中参加時の他の端末への映像2	
.....	43	(端末リクエスト)	48
動き選択(画面分割ユニット		音声コーデックの設定	48
接続時).....	44	音声の通信	48
解像度選択.....	44	同報時の親端末の映像.....	49
カスケード接続台数	44	映像自動切り替え時の	
端末の能力が異なる場合の		発言端末への映像	49
接続方法	45	再ダイヤルの設定	49
共通能力の決定方法	45	データチャネルの設定	50
端末のデータ処理能力が異な		MCUからの発呼方法	50
.....	45	使用ポートの設定	51
		フリーターキングからの	
		会議モードの移行	51
		発信項目の設定.....	51
		能力が低い端末の途中参加	52
		フリーターキング時の	
		映像自動切り替え	52
		発言端末表示	52
		議長制御モード時の音声 ...	53
		部門コードの設定	53
		シリアルポートの設定	53
		他MCUの登録	54
		端末情報の表示	55
		会議グループの登録	56
		部門コードの登録	57
		接続のしかた	58
<hr/>			
故障と思われましたら	66	カスケード接続時の所属MCUの考え方	89
操作誘導メッセージ	67	4画面操作を行うときのご注意	90
状態表示メッセージ	70	定格・付属品.....	93
登録・設定画面体系図	82	保証とアフターサービス.....	裏表紙

はじめに

基本操作

応用操作

登録・設定・接続

付録

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡してください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物破損の原因となります。

必ず販売店に依頼してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

電源プラグのほこりは定期的に取り取る



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで 確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

分解しない、 改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

修理や点検は販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

落とさない、 強い衝撃を与えない



けがや火災、感電の原因となります。

禁止

重量に耐える場所に 取り付ける



落下などでけがの原因となります。

取付工事は販売店に依頼してください。

上手にお使いいただくために

以下のこともお守りください。

取り扱いにはいねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

直射日光の当たる場所は避けて

高温下での使用は避けてください。

お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。ホコリがとれにくいときは、うすめた台所用洗剤をやわらかい布に浸み込ませ、よくしぼり軽く拭いてください。

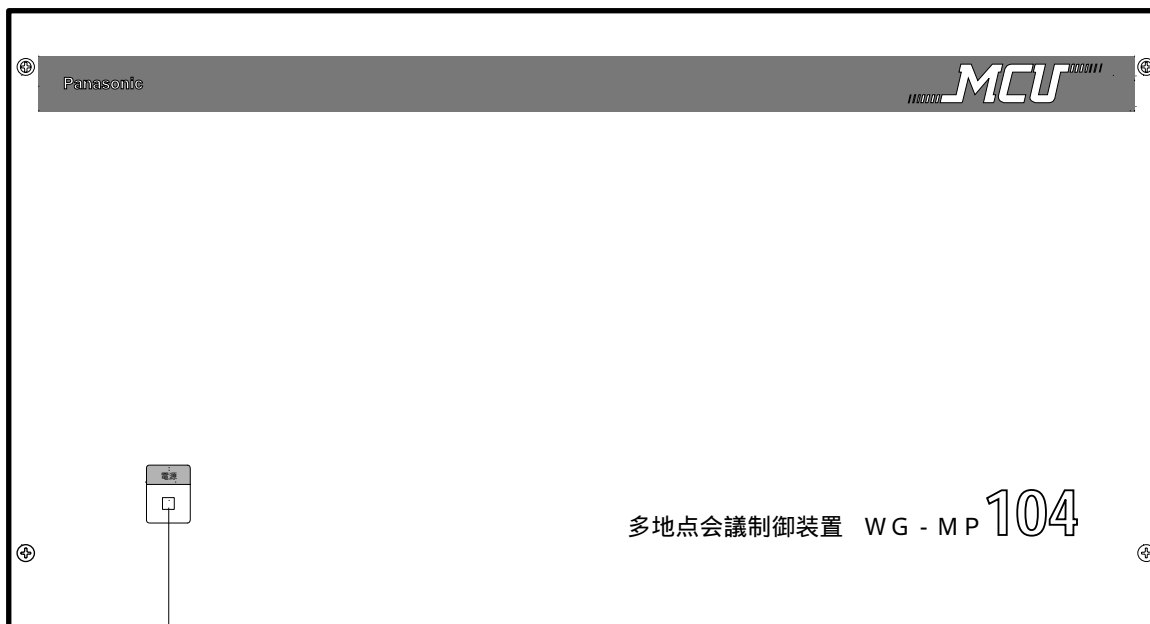
お願い

- ベンジンやシンナーなど揮発性のもの、研磨剤は使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。
- 内部の清掃や点検は、販売店にご相談ください。

各部の名前と働き

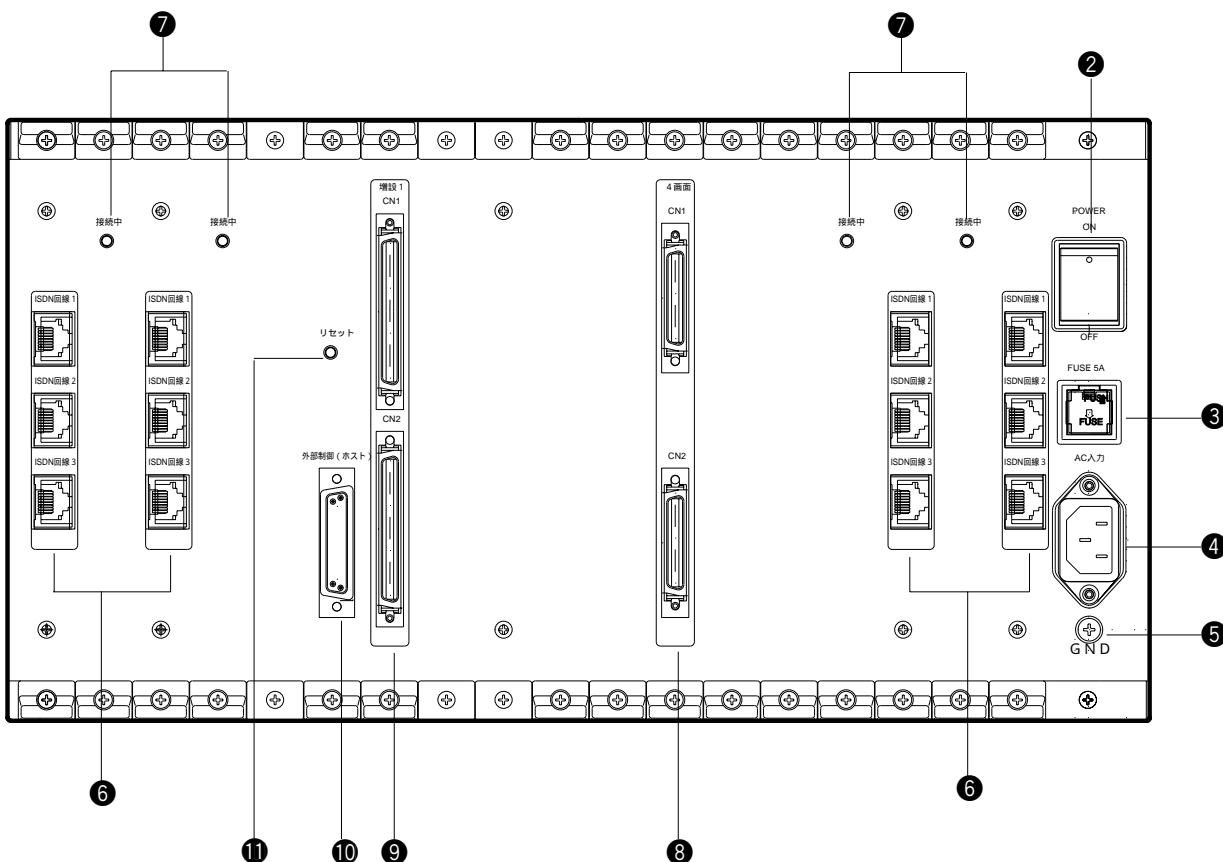
多地点制御装置WG-MP104

前面



1

後面



前面

①電源表示LED[電源]

背面の電源スイッチを「ON」にすると、点灯します。

後面

②電源スイッチ[POWER]

③電源ヒューズ[FUSE 5A]

過電流防止用のヒューズです。

お願い

- ヒューズの交換は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 交換するヒューズは必ず同じタイプ(AC100 V 5 A)のヒューズをお使いください。

④電源ケーブル接続コネクタ[AC入力]

AC100 V電源に接続する電源ケーブル(付属)を接続するコネクタです。

⑤アース端子[GND]

本装置を大地アースに接続するための端子(M4ビス)です。

⑥ISDN回線接続コネクタ

[ISDN回線1,ISDN回線2,ISDN回線3]

多地点会議制御装置をISDN回線にモジュラーケーブル(4本付属)で接続するコネクタです。

1Bまたは2Bで使用する場合：ISDN回線1のコネクタを使用してください。

3Bまたは4Bで使用する場合：ISDN回線1とISDN回線2のコネクタを使用してください。

⑦接続中表示LED[接続中](緑色)

回線と接続されてから、通信している間点灯します。

⑧画面分割ユニット接続コネクタ

[4画面 CN1,CN2]

画面分割ユニットWG-MQ100(オプション)を接続するためのコネクタです。画面分割ユニットを接続すれば、テレビ画面を4分割し、4地点の映像を同時に表示できます。接続ケーブルは、画面分割ユニットに付属しています。

CN1 画面分割ユニットのCN1と接続します。

CN2 画面分割ユニットのCN2と接続します。

⑨多地点会議増設ユニット接続コネクタ

[増設1 CN1,CN2]

多地点会議増設ユニットWG-MA100(オプション)を接続するためのコネクタです。多地点会議増設ユニットを接続すれば、5～8地点でテレビ会議を行うことができます。接続ケーブルは多地点会議増設ユニットに付属しています。

CN1：多地点会議増設ユニットのCN1と接続します。

CN2：多地点会議増設ユニットのCN2と接続します。

⑩パソコン接続コネクタ[外部制御(ホスト)]

多地点会議制御装置とパソコンを付属のケーブルで接続するためのコネクタです。接続したパソコンで多地点会議制御装置の設定や操作を行います。

パソコンについて

以下の条件を満たしているパソコンを接続してください。

- Ms-Windows 3.1が動作すること。
- 8MB(メガバイト)以上のメモリーが搭載されていること。
- ハードディスクに5MB以上の空きがあること。

⑪リセットスイッチ[リセット]

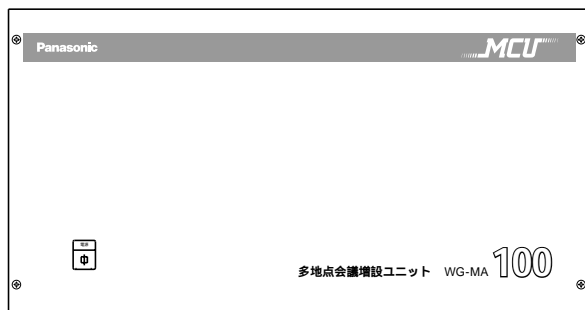
多地点会議制御装置のリセット用スイッチです。

お願い

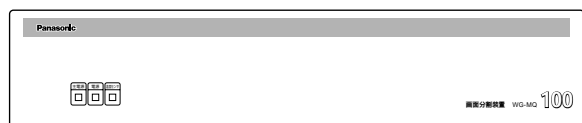
- 会議開催中に押さないでください。会議開催中に押すと、会議が強制終了します。
- システムが予期せぬ障害で停止したときにだけ押ししてください。

各部の名前と働き

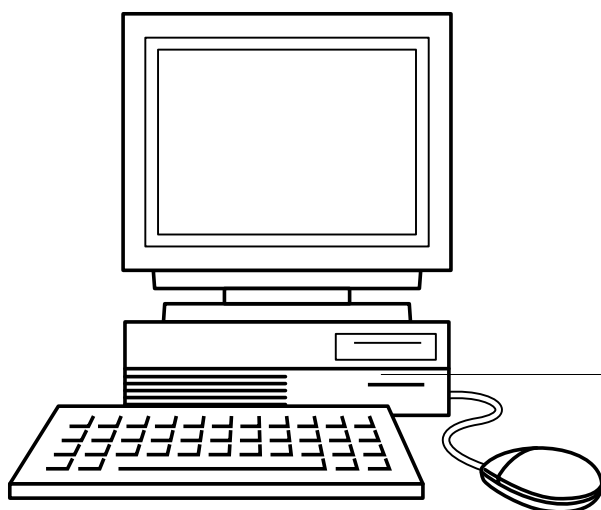
オプション機器



多地点会議増設ユニット(WG-MA100オプション)



画面分割ユニット(WG-MQ100オプション)



MCU制御用パソコン

多地点会議増設ユニット(WG-MA100オプション)

4地点以上を結び、会議を行うとき必要です。本機を多地点会議制御装置と接続することによって最大8地点まで増設できます。

画面分割ユニット(WG-MQ100オプション)

テレビ画面を4分割し、任意の4地点の映像を表示するための装置です。

MCU制御用パソコン

MCU(多地点制御装置)を制御するためのパソコンです。MS-Windows3.1が動作し、メモリーが8メガバイト以上、ハードディスク空き容量が5メガバイト以上あるパソコンが必要です。

このパソコンで、予約機能、リモートメンテナンス、料金管理、障害監視を行うことができます。

用語について

この取扱説明書では以下の用語を使用しています。

MCU	多地点会議制御装置(WG-MP104)や多地点会議増設ユニット(WG-MA100)を総称して、MCU(Multipoint Control Unit)と表現しています。多地点テレビ会議開催中、MCUを意識する必要はありません。
パソコン	MCUを制御するためのプログラムが組み込まれている、MS-Windows3.1パソコンです。単にパソコンと表現しています。
端末	会議の相手先(テレミート100)のことです。会議開催時の設定によって任意の1端末を、ホスト端末や議長、親に設定できます。
ホスト端末	会議を召集したり開催したりする端末を、ホスト端末として設定します。
議長端末	会議モードが議長モードのとき、その会議の進行役を行う端末を議長端末として設定します。
親端末	会議モードが同報モードまたは簡易同報モードのとき、映像や音声を発信する端末を親端末として設定します。
カスケード接続	MCU間を公衆回線で接続することをカスケード接続と呼びます。カスケード接続することによって、8地点以上の地点を結んでテレビ会議を行うことができます。

各端末の権限	パソコン	ホスト端末	議長端末	親端末	その他端末	
会議の開催						
会議の終了						自端末のみ
電話番号の登録(MCU)						
電話番号の登録(端末)						
会議の予約						
予約内容の変更						
予約内容の取り消し						
会議モードの切替						
ホスト交代					×	ホスト時のみ
議長交代				-	×	
親交代				-	×	
会議参加端末の追加			×	×	×	
会議参加端末の削除			×	×	×	
料金管理		×	×	×	×	
障害診断						
リモートメンテナンス		×	×	×	×	

多地点会議を始める前に

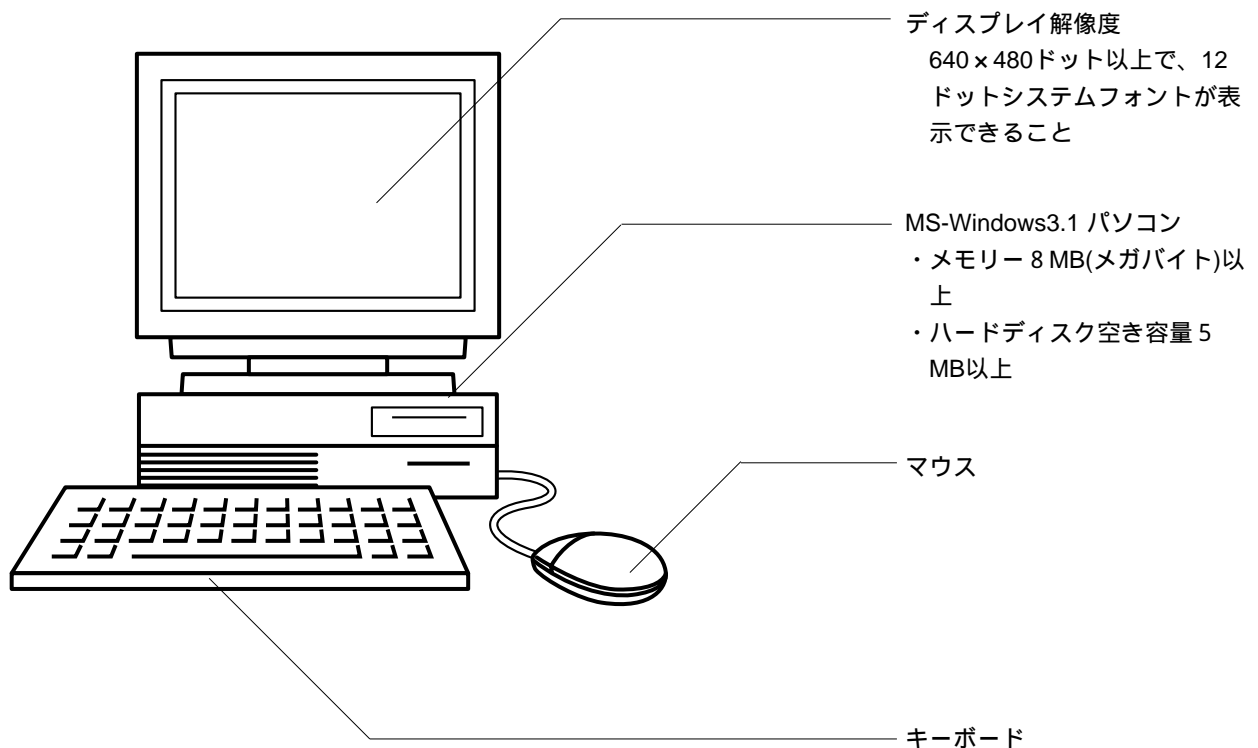
準備

MCUの操作は、MCUに接続されたパソコンまたは端末（テレミート）から行います。以下に示す条件を満たすパソコンを準備し多地点会議制御装置WG-MP104に接続してください。

- MS-Windows3.1日本語版が動作すること。
- メモリー 8 MB(メガバイト)以上、ハードディスク容量 5 MB以上の空きがあること。
- ディスプレイ解像度640×480ドット以上で、12ドットシステムフォントが表示できること。

お願い


- 接続のしかたについては58ページをお読みください。
- MCUをパソコンでコントロールするには、MCUコントロールプログラム(Panasonic MCU)が組み込まれている必要があります。組み込み方法については、32ページをお読みください。
- 本書では、パソコンを使って多地点テレビ会議を行う方法について説明しています。テレミート100での操作方法については、「テレミート100取扱説明書」をお読みください。
- パソコンを接続しないと、以下の機能が使用できなくなります。常時パソコンをMCUに接続して、テレビ会議システムを運用することをお奨めします。
 - 予約機能
 - リモートメンテナンス
 - 料金管理
 - 障害監視

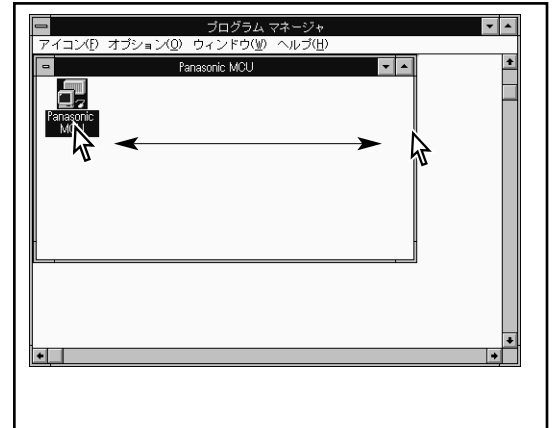


パソコンの操作

MCUコントロールプログラム(Panasonic MCU)は、MS-Windowsのアプリケーションプログラムとして動作します。このため、メニュー項目の選択や確定、プログラムの実行などは、パソコンに接続されている、マウスやキーボードで行います。Panasonic MCUプログラムの組み込み方法については、32ページをお読みください。

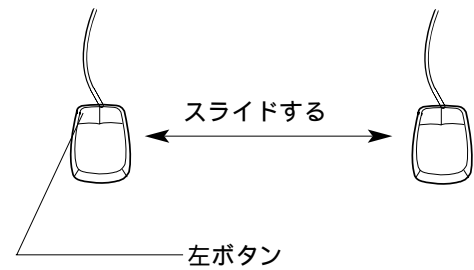
マウスの操作方法(項目の選択)

- 1 マウスをパッド上でスライドさせてボタンや項目などの上にマウスポインター()を移動します。
- 2 マウスの左ボタンを1回押し、選択した項目を確定します。



メモ

- 左ボタンを1回押す操作を「クリック」、2回素早く押す操作をダブルクリックと呼びます。ダブルクリックは、プログラムの起動または、項目の選択・決定を同時に行うときなどに使われます。
- 本取扱説明書では、マウスを使用した選択・確定の一連の操作を「選択」と表現しています。



プログラムの実行方法

- 1 マウスをパッド上でスライドさせて「アイコン」の上にマウスポインターを移動します。
- 2 マウスの左ボタンを素早く2回押します(ダブルクリックします)。選択したプログラムが実行されます。

多地点会議を始める前に

画面の操作

画面によって選択したときの動作が異なります。

- ラジオボタン型

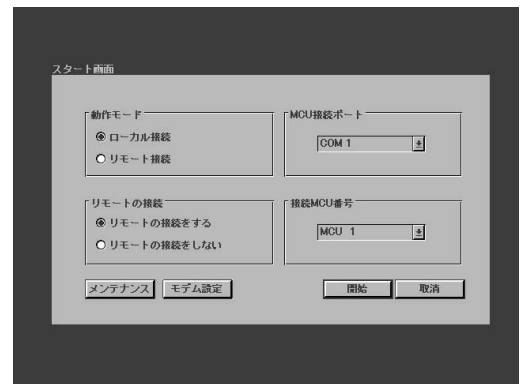
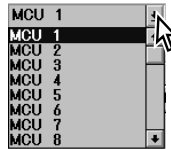
型とレ点型(チェックマーク)があります。いずれも選択した項目に または、レ点が表示されます。

- ボタン型

設定内容の確定や次の操作を行う、下位の画面を表示する、ボタンです。項目によっては、確認メッセージが表示されることがあります。

- プルダウン型

設定内容を選択できる場合、プルダウン型 で表示されます。 を選択すると、あらかじめシステムに登録されている設定内容が一覧表示されます。一覧表示の中から希望する値を選択するだけで項目が入力できます。



メモ

グレー表示された項目は、操作できません。

漢字の入力方法について

漢字での入力方法はご使用になるパソコンや、かな・漢字入力システム(FEP)によって異なります。ご使用になるパソコンまたは、かな・漢字入力システムのマニュアルをお読みください。

基本操作

ここでは、多地点テレビ会議システムの基本的な使いかたを説明します。

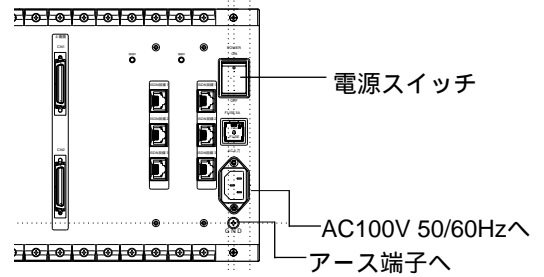
操作のしかた

電源を入れる	14
プログラムを起動する	14
会議の開催(即時会議)	15
会議の終了	17
パソコンによる会議の強制終了	17
電源を切る	18

操作のしかた

電源を入れる

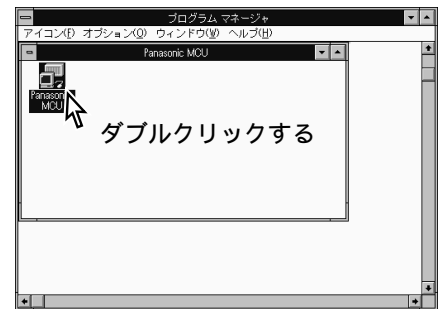
- 1 多地点会議増設ユニットや画面分割ユニットの電源スイッチを「ON」にする
- 2 多地点会議制御装置のAC電源プラグをコンセントに差し込む
必ずアースも接続してください。
- 3 多地点会議制御装置後面の電源スイッチを「ON」にする



増設ユニット(WG-MA100)の電源は、多地点制御装置(WG-MP104)の電源より先にONにしてください。

プログラムを起動する

- 1 MCUコントロールプログラムを組み込んだパソコンの電源をONにする
- 2 MS-Windowsを起動する
- 3 「Panasonic MCU」グループを開く
プログラムマネージャー中の「Panasonic MCU」アイコンをダブルクリックすると開きます。
- 4 MCUコントロールプログラムを起動する

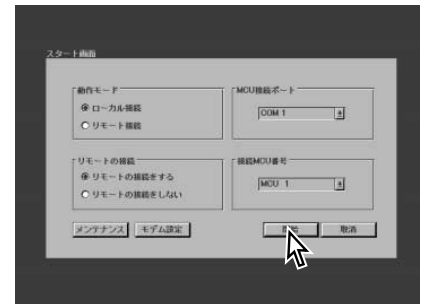


「Panasonic MCU」グループ中の「Panasonic MCU」アイコンをダブルクリックするとプログラムが起動し、「スタート画面」が表示されます。

- 5 「開始」を選択する

システムの状態を確認後、初期画面が表示されます。
接続する端末の台数によって確認に時間がかかることがあります。

スタート画面



スタート画面の項目について

動作モード

- ローカル接続：モデム経由で他のパソコンからMCUをコントロールしない場合に選択します。
- リモート接続：モデム経由で他のパソコンからMCUをコントロールする場合に選択します。

☞ 29ページ

リモートの接続

- リモート接続しない：パソコンでのみ操作するときを選択します。
- リモート接続する：遠隔操作を行うときに選択します。

MCU接続ポート

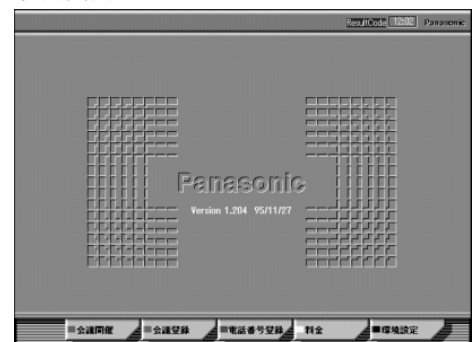
MCUをパソコンのシリアルポートCOM2に接続した場合、COM2に変更してください。省略するとCOM1に設定されます。

接続MCU番号

パソコンを接続しているMCUの番号を1～21の間から選択します。MCUが1台の場合は、MCU1を選択してください。



初期画面



会議の開催

即時会議

すぐに会議を開催したいときに「即時会議」を選択します。

1 「会議開催」を選択する

「会議開催画面」が表示されます。

2 「即時会議」を選択する

「即時会議画面」が表示されます。

メモ

予め会議が予約されている場合は、予約状況表示に予約状況が表示されます。

3 開催したい会議名を選択する

会議一覧の中から開催する会議を選択後、「会議開催」を選択してください。

登録されている会議の形式や参加端末などが表示されます。

4 会議モード、回線数、接続方法を設定する

必要に応じて、会議モード、接続回線数、接続方法を選択してください。

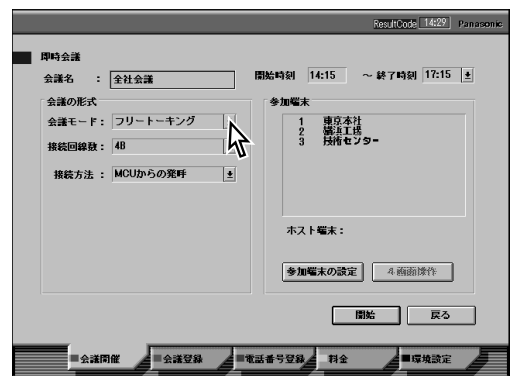
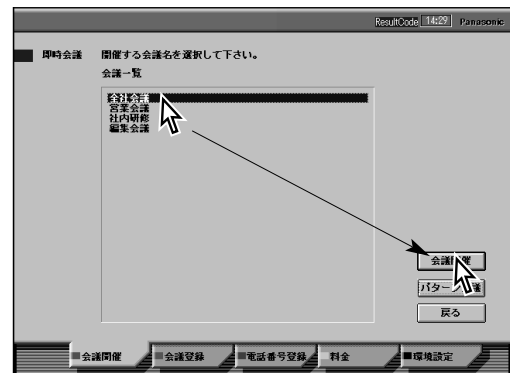
メモ

- 各エリア右にある▼を選択すると設定可能な値が表示されます。希望する項目を選択することで変更できます。☞ 36ページ
- 会議開催時に変更した内容は、その会議にだけ有効です。

会議開催画面




即時会議画面



操作のしかた

5 終了時刻を設定する

終了時刻入力エリア右にある  を選択すると設定可能時刻が表示されます。00:00~23:45(15分単位)の間で希望する終了時刻を選択してください。



重要

終了時刻を設定しないと、自動的に3時間で会議が終了します。

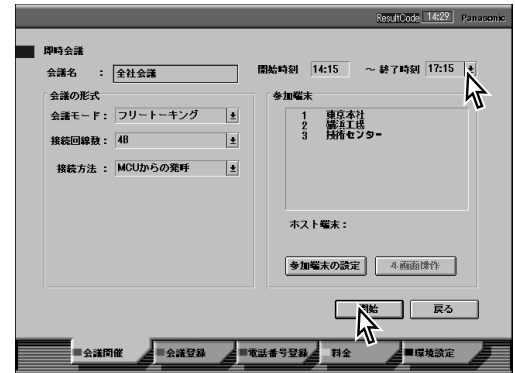
部門コード入力エリアが表示されているとき

部門コードを入力する必要があります。システムに登録されている部門コードを半角数字で入力してください。

部門コード:

6 「開催」を選択します。

接続完了後、テレビ会議が開催されます。



会議の終了

会議は次のような場合、自動的に終了しますが、パソコンから開催中の会議を強制的に終了することもできます。

- 開催時に設定した終了時刻を経過したとき
- 会議参加端末が1端末になったとき

端末側から個別に会議を途中退席することもできます。

パソコンによる会議の強制終了

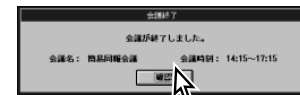
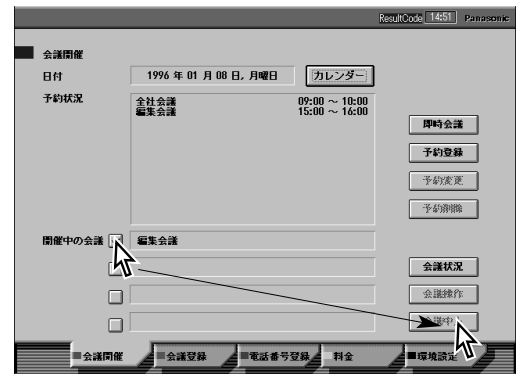
1 会議開催画面で開催中の会議の中から、終了したい会議を選択する

2 「会議中止」を選択する

「会議中止確認」画面が表示されます。

「はい」を選択すると全ての端末への回線を切断し、会議を強制的に終了します。会議が終了すると会議終了メッセージが表示されます。「確認」を選択します。

「いいえ」を選択すると会議は続行され、「会議開催」画面に戻ります。



端末での会議終了

各端末ごとに回線を切断することによって、会議を終了します (☞ 「テレミート100取扱説明書」)。

会議に参加している端末が1端末になった場合、会議が成立しないと見なし、自動的に会議が終了します。

操作のしかた

電源を切る

長期間、多地点テレビ会議を行わない場合、MCUとパソコンの電源を「OFF」にしてください。

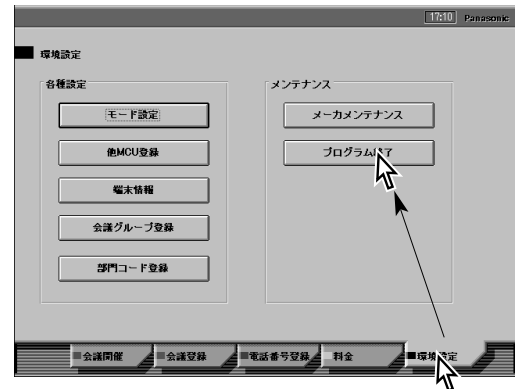
1 MCUコントロールプログラムを終了する

「環境設定」画面を選択し、「プログラム終了」を選択します。「終了確認」画面が表示されます。

重要

プログラムを終了している間、以下の機能は使用できません。

- 予約会議
- リモートメンテナンス
- 料金管理
- 障害監視



2 「はい」を選択する

「はい」を選択するとMCUコントロールプログラムが終了し、MS-Windows画面に戻ります。



3 パソコンの電源スイッチを「OFF」にする

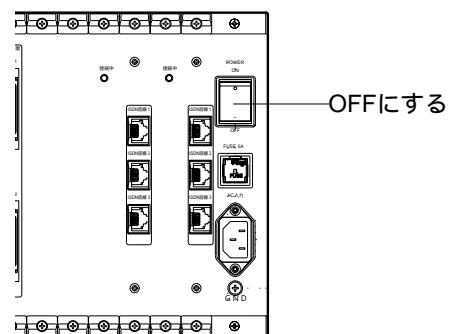
MS-Windowsを終了したあと、パソコンの電源スイッチを「OFF」にしてください。

4 MCU背面の電源スイッチを「OFF」にする

多地点会議制御装置、多地点会議増設ユニット、画面分割ユニット後面の電源スイッチを「OFF」にします。

メモ

長期間使用しない場合は、AC電源プラグをコンセントから抜いてください。



応用操作

ここではテレビ会議をさらに便利にご使用いただくための応用操作について説明します。

便利な機能

パターン同報、パターン簡易同報会議の開催.....	20
簡易同報会議の開催	21
会議の予約.....	22
会議中の操作	25
「参加端末」画面の表示.....	25
会議参加メンバーの追加(端末の追加)	25
会議参加メンバーの退席(端末の削除)	26
ホスト端末の変更	26
議長 / 同報親端末の変更.....	26
会議状況の確認	27
料金管理	28
リモートによるMCUの操作.....	29

便利な機能

パターン同報、パターン簡易同報会議の開催よく開催する会議パターンを登録しておくことができます。登録したパターンを選択することによって、同報または、簡易同報会議を開催できます。

メモ

パターン同報またはパターン同報会議では、参加端末の変更はできません。

1 「会議開催」を選択する

「会議開催」画面が表示されます。

2 「即時会議」を選択する

3 「パターン会議」を選択する

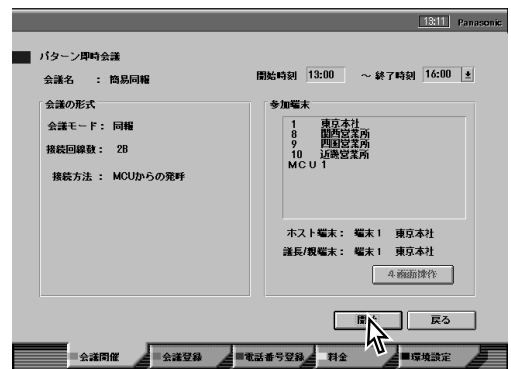
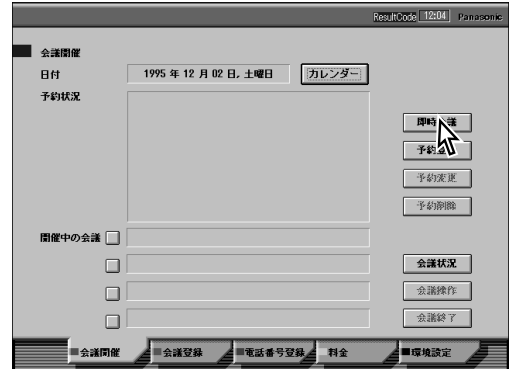
4 「パターン同報/パターン簡易同報会議一覧」から開催する会議パターンを選択する

5 「会議開催」を選択する

「パターン即時会議画面」が表示されます。終了時刻を設定してください。

6 「開始」を選択する

MCUから会議に登録されている端末を呼び出し、パターン同報またはパターン簡易同報会議を開催します。

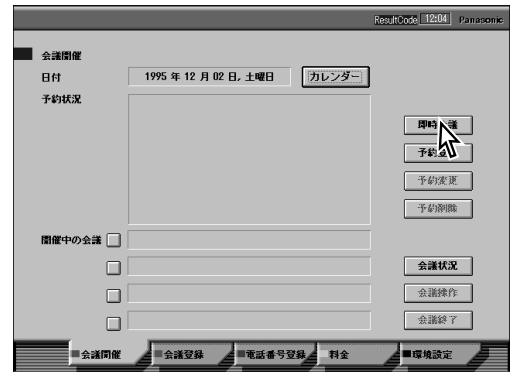


簡易同報会議の開催

- MCUでINSネット64を3回線使用することによって、通常の会議より多くの地点へ親端末の映像を他の端末へ一斉に送ることができます。
 - ・4地点用MCUでは最大9 端末(親端末除く)
 - ・8地点用MCUでは最大21 端末(親端末除く)
- 設置しているMCUが3台以下の場合には、通常の会議と同様に開催することができます。
- 設置しているMCUが3台以上の場合には、あらかじめ会議パターンを登録しておく必要があります。(パターン登録 40ページ)。

1 「会議開催」を選択する

「会議開催画面」が表示されます。



2 開催する会議を選択する

会議名を選択後、「即時会議」を選択し、「即時会議」画面を表示します。会議の予約を行う場合は、「予約登録」を選択します。



3 会議モードとして「簡易同報」を選択する

「即時会議」画面の「会議モード」で「簡易同報」を選択します。

4 「開始」を選択する

MCUから会議に登録されている端末を呼び出し、簡易同報会議を開催します。



4画面操作について

画面分割ユニットが接続されている場合は、各ISDNコネクタ(多地点会議制御装置後面)の一番上に接続されている端末映像を4画面表示します。(90ページ)

簡易同報とは

- 簡易同報は同報や、他の会議モードに比べ、MCUが持っている接続回線数より多くの端末と接続できます。
- 簡易同報時、親端末で子端末の映像選択や発言許可(親端末と、発言許可された端末間での双方向通信が可能)を行うことができますが、映像選択および発言許可時に、親端末からの音声が一時的に途切れます。「同報時の親端末の映像(49ページ)」を「自動スキャン」に設定している場合も映像切り替え時に親端末からの映像が途切れます。

便利な機能

会議の予約

あらかじめ会議名や開催日時などを登録しておくことができます。登録された日時になると自動的に会議が開催されます。

予約のしかた

1 「会議開催」を選択する

会議開催画面が表示されます。

2 予約状況を確認する

「カレンダー」を選択すると、「予約日設定画面」(月間カレンダー)が表示されます。予約日、「設定」の順に選択すると、「会議開催画面」に予約状況が表示されます。

メモ

スクロールバー(☷)を選択すると翌月のカレンダーを表示できます。(☶)を選択すると前月の表示に戻ります。

3 「予約登録」を選択する

「予約登録画面」が表示されます。

4 会議名を選択する

会議一覧の中から開催したい会議名を選択し、「予約登録」を選択します(会議の登録のしかた 36ページ)。登録されている会議の形式や参加端末などが表示されます。変更のしかたは、会議の登録と同じです。会議予約時に変更した内容は、その会議にだけ有効です。

5 予約日を設定する

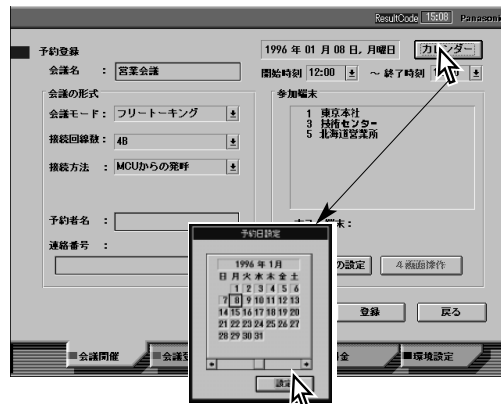
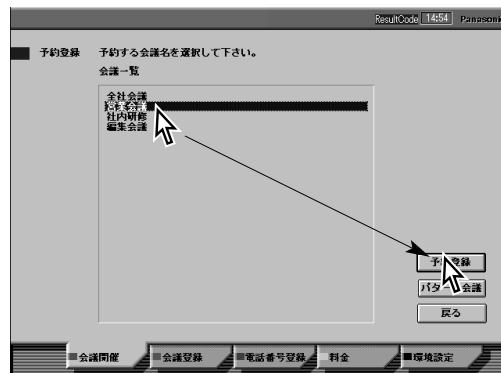
「カレンダー」を選択し、会議開催日を設定します。過去の日付で予約することはできません。3カ月前までの予約が可能です。

予約可能な件数について

- 会議を予約できる件数は、パソコンに接続されているハードディスクの空き容量によって異なります。
- 会議を予約すると1件ごとにハードディスクを数キロバイト使用します。このため、ご使用になるパソコンに接続されているハードディスクに空きがないと、会議の予約はできません。

メモ

予約会議を行うには、常時MCUにパソコンを接続し、MCUコントロールプログラムを起動しておく必要があります。



6 会議開始時刻と終了時刻を設定する

▼ を選択すると設定可能時刻が表示されます。00:00~23:45(15分単位)の間で希望する開始時刻、終了時刻を選択してください。

7 予約者名と連絡先を入力します。

予約者名または連絡先を選択し、キーボードで予約者名と連絡先を入力します。漢字、かな、英字で入力することができます。

部門コード入力エリアが表示されているとき

部門コードを入力する必要があります。システムに登録されている部門コードを半角数字で入力してください。

部門コード: 333851

8 予約を登録する

「登録」を選択します。「予約登録確認」画面が表示されます。「はい」を選択すると予約登録され、「予約登録完了」画面に予約番号が表示されます。予約番号は、予約内容を変更したり削除したりするときに必要です。必ずメモなどに控え、会議が終了するまで保管してください。

重要

- 予約番号を忘れると予約内容の変更や削除ができません。
- 予約した日時になると自動的に会議が開催されます。
- 予約会議より即時会議が優先されます。したがって即時会議の会議開催時間が予約会議の時間に重なった場合、予約内容はキャンセルされます。ただし、参加端末が異なる場合はこの限りではありません。

便利な機能

予約内容の変更・削除

1 「会議開催」を選択する

会議開催画面が表示されます。

2 予約状況を確認する

「カレンダー」を選択し、予約した日を選択します。「会議開催画面」に予約状況が表示されます。

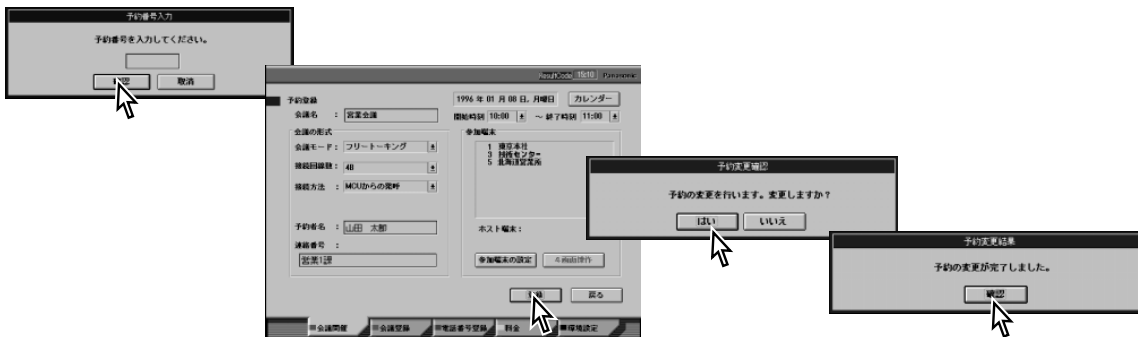
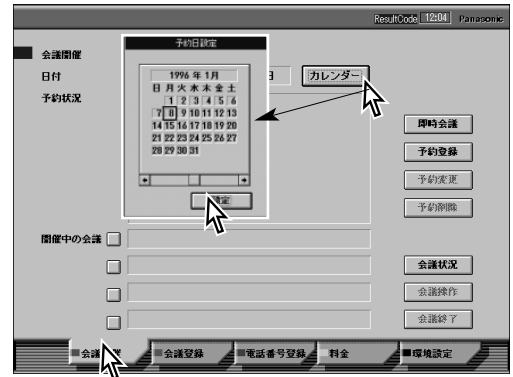
3 予約した会議を選択する

予約状況に表示されている会議の中から変更したい会議を選択します。

4 「予約変更」又は「予約削除」を選択する

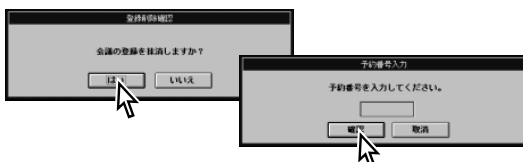
「予約変更」の場合

- ① 予約番号を入力する画面が表示されます。キーボードから会議予約時に表示された4けたの番号(半角数字)を入力してください。
- ② 「予約登録」画面が表示されます。会議の予約と同じ操作で登録内容を変更してください。



「予約削除」の場合

- ① 確認画面が表示されます。削除するときは、「はい」を選択します。削除を取りやめるときは、「いいえ」を選択します。
- ② 「はい」を選択すると、予約番号を入力する画面が表示されます。キーボードから会議予約時に表示された4けたの番号(半角数字)を入力し「確認」を選択します。予約番号が正しければ予約内容を削除します。間違った予約番号を入力すると、再度予約番号の入力を要求します。



会議中の操作

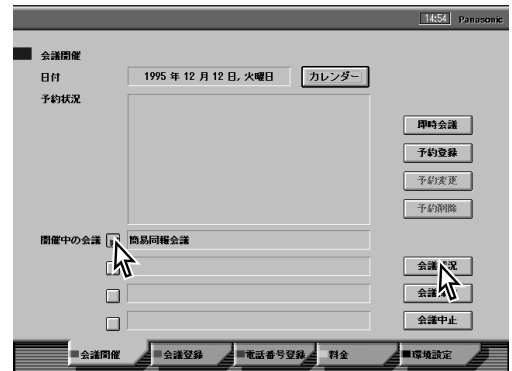
開催中の会議に対し、参加メンバーの追加・削除、親端末の変更、ホスト端末の変更、電話端末(電話)の呼び出しができます。これらの操作は、「参加端末」画面で操作します。

「参加端末」画面の表示

- 1 「会議開催」画面で「開催中の会議」から操作する会議を選択する
「即時会議」画面を表示しているときは、「戻る」を選択し「会議開催」画面を表示します。

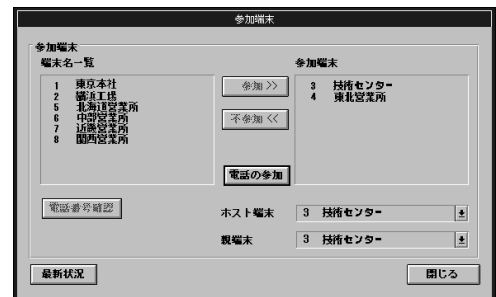
2 操作する会議を選択する

「会議開催」画面の「会議中の会議」から選択します。



3 「会議操作」を選択する

「参加端末」画面が表示されます。この画面で参加メンバーの追加・削除、議長 / 親端末の変更、ホスト端末の変更を行います。



会議参加メンバーの追加(端末の追加)

- 会議開催時に参加登録されているにもかかわらず、何らかの原因で参加させることができなかった端末に対し、後から会議に追加参加させることができます。
- 会議グループに登録されていない端末を会議の途中で参加させることもできます(会議グループ 56ページ)。

1 「参加端末」画面を表示する

- 2 端末名一覧から追加する端末名を選択し、「参加」をクリックする
選択した端末に対し発呼します。

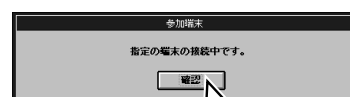


3 「確認」を選択する

「確認」を選択すると画面が閉じます。

4 「閉じる」を選択する

「閉じる」を選択すると、前の画面に戻ります。



便利な機能

会議参加メンバーの退席(端末の削除)

会議の途中で指定した端末の回線を切断し、退席させることができます。

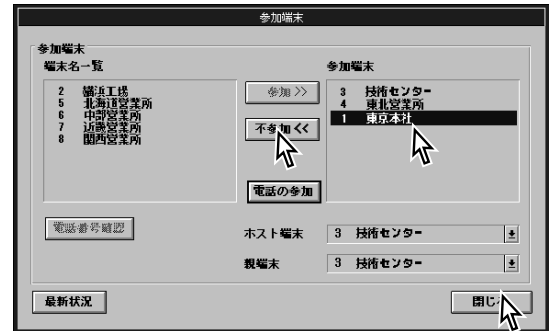
1 「参加端末」画面を表示する

2 参加端末から削除する端末を選択する

選択した端末を切断します。

3 「確認」を選択する

「確認」を選択すると画面が閉じます。



4 「閉じる」を選択する

「閉じる」を選択すると前の画面に戻ります。



ホスト端末の変更

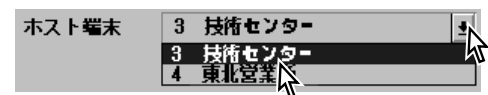
1 「参加端末」画面を表示する

2 ホストを選択する

ホスト右の [v] を選択すると変更できる端末名が表示されます。

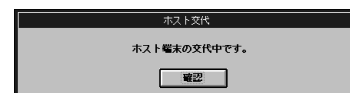
3 「確認」を選択する

「確認」を選択すると画面が閉じ、選択した端末がホスト端末に変わります。



4 「閉じる」を選択する

「閉じる」を選択すると前の画面に戻ります。



議長 / 同報親端末の変更

同報または議長制御モードで会議中に、議長端末/同報親端末を変更することができます。

1 「参加端末」画面を表示する

2 議長 / 同報親端末を選択する

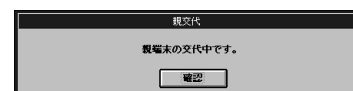
ホスト端末の変更と同様に、議長 / 親端末右の [v] を選択すると変更できる端末名が表示されます。

3 「確認」を選択する

「確認」を選択すると画面が閉じ、選択した端末が親 / 議長端末に変わります。

4 「閉じる」を選択する

「閉じる」を選択すると前の画面に戻ります。



会議状況の確認

開催中の会議の状況(参加端末)を一覧表示で確認できます。

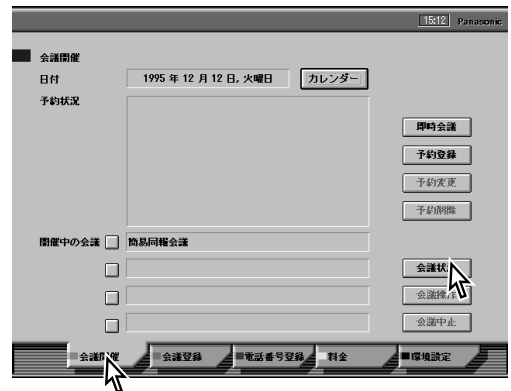
1 「会議開催」画面を表示する

2 「会議状況」を選択する

「会議状況」画面に現在開催中の会議や会議に参加している端末などの一覧が表示されます。

メモ

- 開催中の会議を選択後、「端末詳細」を選択すると、「参加端末」画面を表示することができます。端末の追加・削除などがあります。
- 「切断理由」を選択すると、端末が切断された理由(最新情報のみ)を確認することができます。



便利な機能

料金管理

過去3カ月分の電話料金を、端末または会議、部門コードごとに料金を集計できます。表示内容をプリンターに印刷することができます。

メモ

- 部門コードで料金を集計して表示するには、あらかじめ「環境設定」画面のモード設定で部門コードを「使用する」に設定しておく必要があります。
- 集計結果を印刷するには、あらかじめパソコンにプリンターを接続し、プリンターの環境を設定しておく必要があります。詳しくは、お使いになるプリンターのマニュアルをお読みください。
- 締め日を選択すると集計する日を設定することができます。

月ごとの料金表示

1 「料金」を選択する

月ごとの料金(4カ月分)が表示されます。

月別	年月	金額
	95年9月	0
	95年10月	0
	95年11月	0
	95年12月	0

Buttons: 締め日設定, 端末毎, 会議毎, 部門毎

端末ごとの料金表示

1 「料金」を選択し「料金」画面を表示する

2 「端末毎」を選択する

端末ごとの電話料金が、集計されて表示されます。集計結果を印刷するときは、「印刷」を選択します。

端末名	金額
1 8956	1100
2 8957	9200
3 8958	370
4 8959	30120
5 8962	11010
6 8963	1400
7 8930	0
8 8931	0
9	0
10	0
11	0
12	0

Buttons: 印刷, 戻る

会議ごとの料金表示

1 「料金」を選択し「料金」画面を表示する

2 「会議毎」を選択する

会議ごとの電話料金が、集計されて表示されます。集計結果を印刷するときは、「印刷」を選択します。

日付	開始時刻	終了時刻	会議名	金額
95年12月4日	14:00:00	14:01:00	マルチメディア事業部	400
95年12月4日	14:02:00	14:03:00	マルチメディア部	400
95年12月4日	14:03:00	14:04:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:04:00	14:05:00	マルチメディア部	120
95年12月4日	14:05:00	14:06:00	マルチメディア部	520
95年12月4日	14:06:00	14:07:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:07:00	14:08:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:08:00	14:09:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:09:00	14:10:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:10:00	14:11:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:11:00	14:12:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:12:00	14:13:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:13:00	14:14:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:14:00	14:15:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:15:00	14:16:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:16:00	14:17:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:17:00	14:18:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:18:00	14:19:00	マルチメディア部	200
95年12月4日	14:19:00	14:20:00	マルチメディア部	300
95年12月4日	14:20:00	14:21:00	マルチメディア部	500

Buttons: 印刷, 戻る

部門ごとの料金表示

1 「料金」を選択し「料金」画面を表示する

2 「部門毎」を選択する

部門ごとの電話料金が、集計されて表示されます。集計結果を印刷するときは、「印刷」を選択します。

部門コード	金額
その他	0

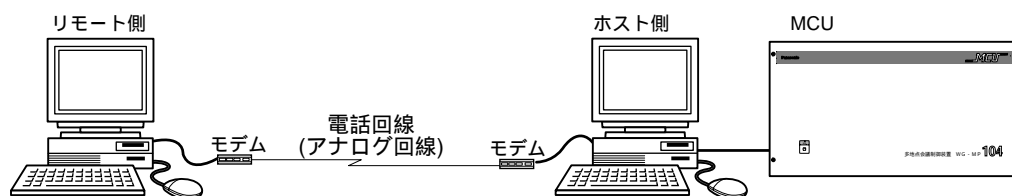
Buttons: 印刷, 戻る

リモートによるMCUの操作

パソコンにモデムを接続することによって、遠隔地にあるパソコン(モデム必要)から電話回線経由でMCUの設定や操作ができます。

重要

- リモート側のパソコンにも、MCUコントロールプログラムを組み込んでおく必要があります。
- リモートによる操作を行う場合、ホスト側リモート側共にモデムの条件を設定する必要があります。モデムの設定は、スタート画面で行います。既に操作を開始している場合は、MCUコントロールプログラムを一度終了し、再起動してください。
- リモート側パソコンで設定した内容(会議や予約内容など)は、リモート接続したホスト側パソコンに登録されます。
- リモートでMCUの操作や設定を行う場合も、ホスト側のパソコンとMCUの電源をONにしておく必要があります。また、ホスト側パソコンで、MCUコントロールプログラムを起動しておく必要があります。



ホスト側パソコンの設定

1 MCUコントロールプログラムを起動し、「スタート画面」を表示する

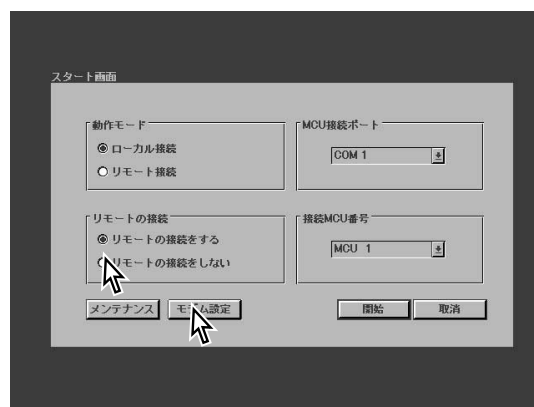
2 「リモートの接続」の「リモートの接続をする」を選択する

3 「モデム設定」を選択する

モデム接続ポート、通信速度、初期化コマンドを設定します。設定のしかたについては、お使いになるモデムのマニュアルをお読みください。

4 「設定」を選択する

設定内容がシステムに登録され、「スタート画面」に戻ります。



便利な機能

リモート側パソコンの設定

1 MCUコントロールプログラムを起動し、「スタート画面」を表示す。

2 「動作モード」の「リモート接続」を選択する

3 「モデム設定」を選択する

モデム接続ポート、通信速度、初期化コマンドを設定します。設定のしかたについては、お使いになるモデムのマニュアルをお読みください。

4 「設定」を選択する

設定内容がシステムに登録され、「スタート画面」に戻ります。

5 「開始」を選択する

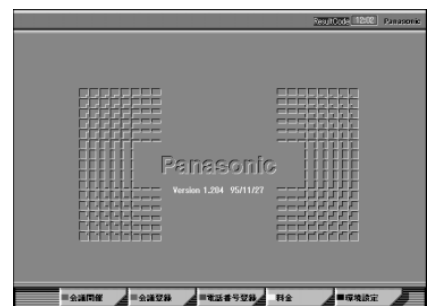
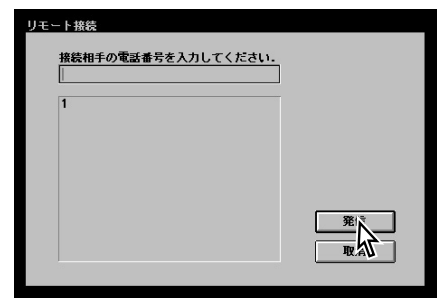
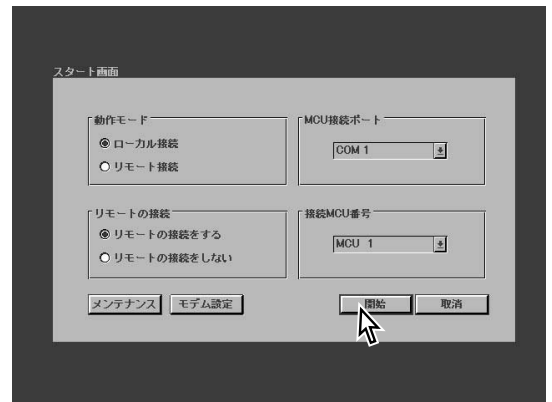
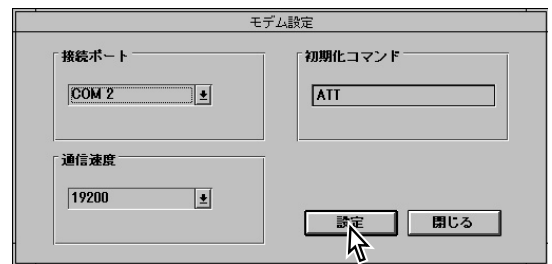
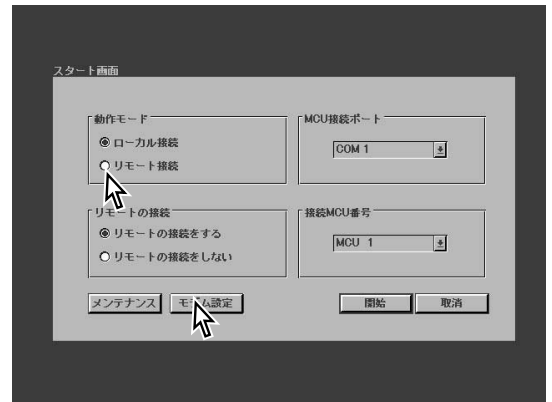
リモート接続するMCUの電話番号を入力する画面が表示されます。

6 電話番号を入力し、「開始」を選択する

接続先MCUの電話番号をキーボードから半角数字で入力してください。入力後、「開始」を選択すると、初期画面が表示されます。

メモ

- 一度入力した電話番号は、下段のボックスに記憶されます。次回以降、ボックス内に表示されている電話番号をダブルクリックするだけで電話番号を選択できます。
- 通信速度によっては、MCUの操作に時間がかかることがあります。
- 会議の設定や登録などの操作は、通常の操作と同じです。



登録・設定・接続

ここでは、各機能の登録とシステム動作環境の設定、他の機器との接続について説明します。

MCUコントロールプログラムの組み込み.....	32	端末途中参加時の他の端末への映像2 (端末リクエスト)	48
登録のしかた	34	音声コーデックの設定.....	48
電話番号の登録	34	音声の通信.....	48
会議の登録	36	同報時の親端末の映像.....	49
パターン会議の登録.....	40	映像自動切り替え時の発言端末への映像	49
環境設定のしかた.....	42	再ダイヤルの設定	49
設定を始める前に.....	42	データチャネルの設定.....	50
モード設定	43	MCUからの発呼方法	50
工場出荷時の設定.....	43	使用ポートの設定.....	51
表示設定	43	フリートーキングからの	
電源立ち上げ時の会議モード.....	43	会議モードの移行.....	51
動き選択 (画面分割ユニット接続時)	44	発信項目の設定.....	51
解像度選択.....	44	能力が低い端末の途中参加.....	52
カスケード接続台数	44	フリートーキング時の	
端末の能力が異なる場合の接続方法	45	映像自動切り替え	52
共通能力の決定方法	45	発言端末表示	52
端末のデータ処理能力が異なる場合	46	議長制御モード時の音声.....	53
ホスト端末切断時の会議終了.....	46	部門コードの設定.....	53
同報親端末、議長端末切断時の会議終了	46	シリアルポートの設定.....	53
端末途中参加時の参加端末への映像1 (フリートーキング)	47	他MCUの登録.....	54
端末途中参加時の参加端末への映像2 (端末リクエスト)	47	端末情報の表示	55
端末途中参加時の他の端末への映像1 (フリートーキング)	47	会議グループの登録.....	56
		部門コードの登録.....	57
		接続のしかた	58

MCUコントロールプログラムの組み込み

MCUの操作を行うためには、パソコンにMCUコントロールプログラム(Panasonic MCU)をあらかじめ組み込んでおく必要があります。このプログラム(Panasonic MCU)は、MS-Windowsのアプリケーションプログラムとして動作します。

1 パソコンの電源を「ON」にする

パソコンの電源を「ON」にし、MS-Windowsを起動します。

MS-Windowsの起動方法

DOSプロンプト(C : ¥>など)が表示されているとき、キーボードから以下の内容(コマンド)を入力し、MS-Windowsを起動してください。

W I N Enterキー

2 フロッピーディスクをパソコンに挿入する

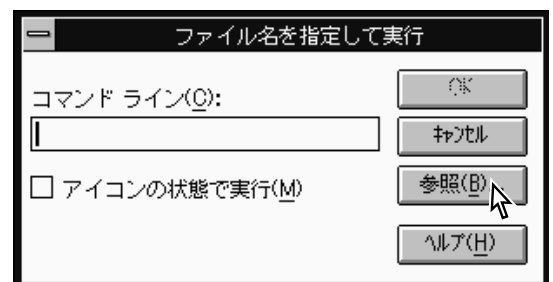
多地点会議制御装置WG-MP104に付属しているフロッピーディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブに挿入します。


3 プログラムマネージャーのプルダウンメニュー(ファイル)から「ファイル名を指定して実行」を選択する

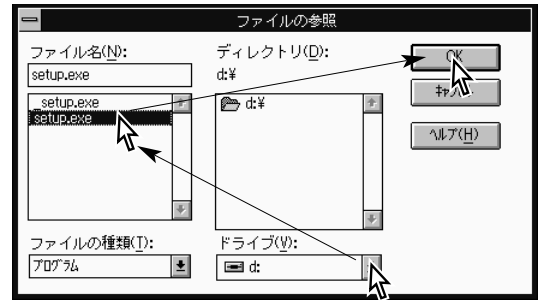
「ファイル名を指定して実行」画面が開きます。



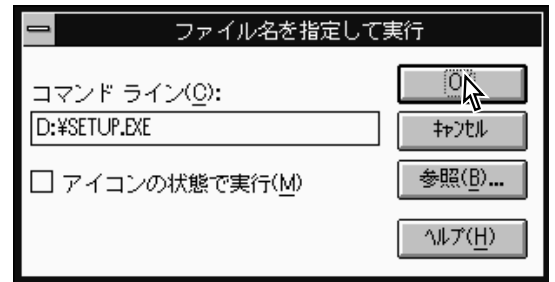
4 「参照(B)」を選択する



5 「ドライブ(V)」右の  を選択し、フロッピーディスクを挿入したドライブを選択する
保存されているファイル名が表示されます。



6 ファイル名「SETUP.EXE」をダブルクリックし、「OK」ボタンを選択する
選択したファイル名が「コマンドライン(C)」に表示されます。



7 「OK」を選択する

プログラムの組み込み作業が開始され、「Panasonic MCU セットアップ」画面が表示されます。

8 組み込み先を指定し、「継続」を選択する

組み込み先は、5MB以上の空きがあるハードディスクを指定してください。

組み込み先の指定がない場合、Cドライブに「PANAMCU」ディレクトリを作成し組み込みます。

「継続」を選択すると、組み込み作業が開始されます。



9 組み込みが完了すると、プログラムマネージャーに「Panasonic MCU」グループが作成され、「Panasonic MCU」アイコンが登録されます。



登録のしかた

電話番号の登録

MCUまたは、端末の電話番号を登録します。

「電話番号登録」を選択し「電話番号登録」画面を呼び出します

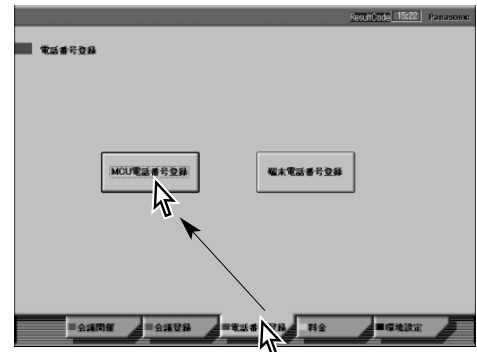
- 端末番号を選択し「登録」を選択します。端末名、種別、情報転送能力、回線数を登録します。端末の電話番号を端末の回線数分半角で入力します。登録を選択することによって、登録されます。
- すでに端末名が登録されている場合は、端末名をダブルクリックすれば、「端末電話番号登録」画面を表示できます。
- 端末名を選択し、削除アイコンを選択することによって、その端末の登録を削除します。

MCUの電話番号の登録

MCUの電話番号(MCUを接続する回線の電話番号)を登録します。MCUが実装しているMCU回線ユニットの数は、MCUが自動的に判断します。ユニットの数だけ登録してください。

1 「電話番号登録」を選択する

電話番号登録画面が表示されます。



2 「MCU電話番号登録」を選択する


「MCU電話番号登録」画面が表示されます。

3 MCU回線ユニットを選択する

電話番号を登録する回線ユニット番号を選択します。「MCU電話番号」画面が表示されます。



4 情報転送能力を選択する

情報転送能力入力エリア右にある  を選択すると、選択可能な項目が表示されます。使用する回線の情報転送能力を選択してください。

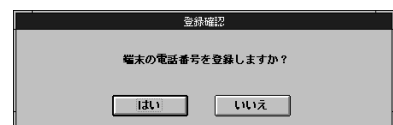
5 電話番号を入力する

MCUの電話番号の下4けたをMCUに接続する回線の数だけ、半角数字で入力します。回線数は、MCUが自動的に判断します。▶を選択すると次のMCUユニットに対する電話番号の登録ができます。◀を選択すると、一つ前のMCUユニットに対する電話番号を登録する画面に戻ります。



6 「登録」を選択する

「登録確認」画面が表示されます。「はい」を選択すると電話番号が登録されます。登録を中止するときは、「いいえ」を選択します。



端末電話番号の登録

1 「電話番号登録」を選択する

電話番号登録画面が表示されます。



2 「端末電話番号」登録を選択する


「端末電話番号登録」画面が表示されます。

3 端末名を選択する

電話番号を登録する端末名または端末番号(1~128)を選択します。「登録」を選択すると「端末電話番号」画面が表示されます。「削除」を選択すると、選択した端末の登録内容が全て削除されます。




4 種別を選択する

種別入力エリア右にある  を選択すると、選択可能な項目が表示されます。




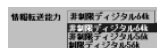
5 回線数を選択する

回線数入力エリア右にある  を選択すると、回線数の一覧が表示されます。端末が持っている回線数を選択します。



6 情報転送能力を選択する

情報伝送能力入力エリア右にある  を選択すると、選択可能な項目が表示されます。使用する回線の情報伝送能力を選択します。

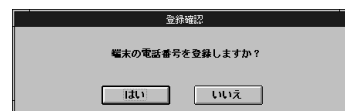


7 電話番号を入力する

選択した回線数の電話番号を、半角数字で入力してください。

8 「登録」を選択する

必要項目を入力したら、「登録」を選択します。「登録確認」画面が表示されます。「はい」を選択すると端末名と電話番号が登録されます。登録を中止するときは、「いいえ」を選択します。



登録のしかた

会議の登録

頻繁に開催される会議を予め登録することによって、会議名を選択するだけで会議を開催できます。同報会議の場合は、同報グループを登録します。最大128会議まで登録できます。MCUを4台以上経由して端末を接続する場合、パターン同報/簡易同報会議として登録する必要があります。(☞ 40ページ)

会議の登録・変更のしかた

1 「会議登録」を選択する

「会議登録」画面が表示されます。会議一覧に登録済みの会議が表示されます。

2 「新規登録」または、「変更」を選択する

- 新規に登録する場合
新規に会議名を登録する場合「新規登録」を選択します。会議名、会議の形式などを設定する画面が表示されます。
- 登録内容を変更する場合
変更する会議を会議一覧から選択後、「変更」を選択します。選択した会議に登録されている会議名、会議の形式などが表示されます。

3 会議名を入力する


「会議名」右の入力エリアを選択します。キーボードから漢字・かな・英数字で会議名を入力します。変更する場合は、変更した会議名を入力します。

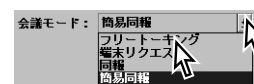
変更する場合

会議名を変更しても、前の会議名はそのまま残ります。
前の会議名が不要な場合は、会議名を削除してください

(☞ 39ページ)

4 会議モードを選択する


会議モード入力エリア右にある  を選択すると選択可能な会議モードが表示されます。希望する会議モード(下表参照)を選択してください。

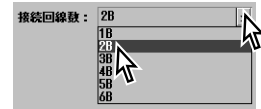


会議モード	モード切換	映像	音声	備考
フリートキング	可	自動切替	ミキシング	: 同報または議長制御へ切り替え可能
端末リクエスト	不可	端末で選択	ミキシング	
同報	不可	親地点の映像と音声を他の地点に分配	端末からの発言要求によって会話可能	<ul style="list-style-type: none"> • 4地点MCU 9地点まで同報可能* • 8地点MCU 21地点まで同報可能*
簡易同報	不可		親地点の音声を端末に送信。会話は不可	

* 親地点を除く

5 接続回線数を選択する

接続回線数入力エリア右にある  を選択すると選択可能な回線数が表示されます。希望する回線数を選択してください。



6 接続方法を選択する

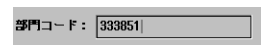
MCUからの発呼 : 会議開催時にMCUから端末を呼び出して回線を接続します。

端末からの発呼 : 会議開催時に端末からMCUを呼び出して回線を接続します。



7 部門コードを入力する

- キーボードから半角数字で部門コードを入力します。モード設定で部門コードを「使用する」に設定したときだけ表示されます。表示されているときは、必ず入力する必要があります。
- 部門コードを入力すれば、部門コードごとに電話使用料金を集計することができます。



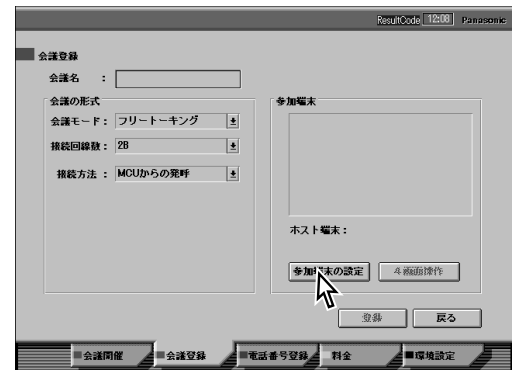
8 会議参加端末を設定する

「参加端末の設定」を選択すると、「参加端末設定」画面が表示されます。

- ① 端末名一覧から会議に参加させる端末名を選択する
- ② 「参加」を選択すると、「参加端末」に選択した端末名が移動します。
「参加端末」に表示された端末名が、会議参加端末として設定されます。


参加端末の選択を間違えた場合

間違えた端末名を「参加端末」の中から選択し、「不参加」を選択します。会議参加端末から削除することができます。

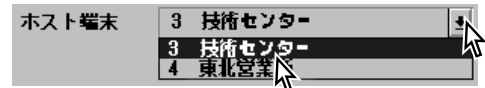


登録のしかた


③ ホスト端末を選択する

ホスト端末入力エリア右にある  を選択すると選択可能な端末が表示されます。ホスト端末に指定する端末名を選択してください。

ホスト端末とは
会議中に会議参加メンバーを追加したり、秘話の設定などが可能な端末です。



④ 親 / 議長端末の選択

親端末入力エリア右にある  を選択すると、ホスト端末の選択と同様に、選択可能な端末が表示されます。親端末にする端末名を選択してください。

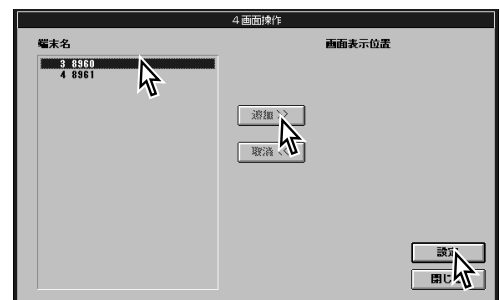
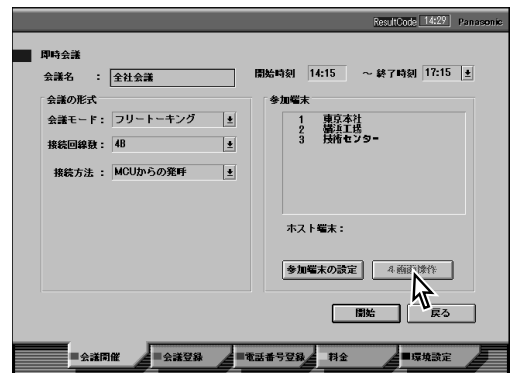
⑤ 4画面表示端末の選択

- 「4画面操作」を選択します。「4画面操作」画面が表示されます。
- 4画面表示する端末を選択し、「追加」を選択してください。「設定」を選択すると選択した端末の画面が4画面表示になります。

⑥ 「閉じる」を選択する

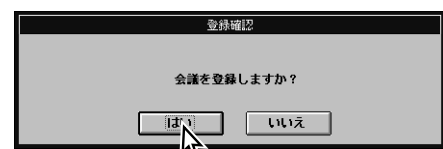
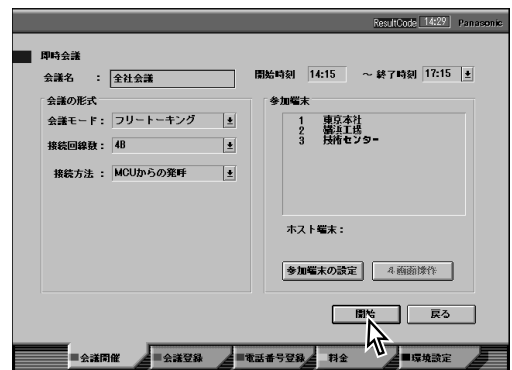
重要

- この項目は画面分割ユニットWG-MQ100が接続されているときだけ選択できます。
- カスケード接続(MCU間を回線で接続)を行っている場合は、4画面操作を行わないでください。(☞ 90ページ)



9 登録する

「登録」を選択すると確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、設定内容が登録されます。登録を取り消すときは、「いいえ」を選択します。



会議名の削除

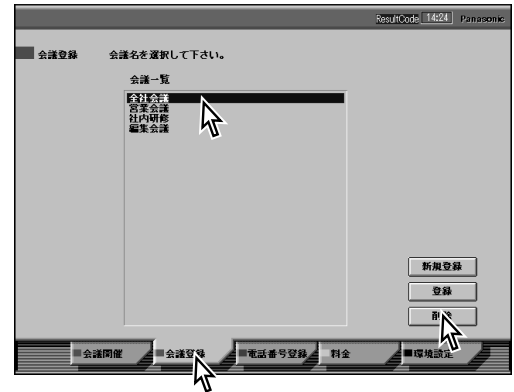
重要

削除した内容を回復することはできません。本当に削除してよいか、よく確認してから削除してください。

1 「会議登録」を選択する

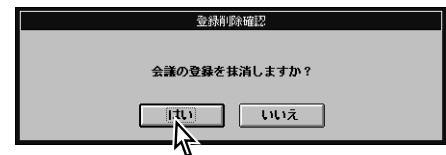
「会議登録」画面が表示されます。会議一覧に登録済みの会議が表示されます。

2 「会議一覧」から削除する会議名を選択する



3 「削除」を選択する

確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると選択した会議が削除されます。「いいえ」を選択すると削除せずに「会議登録」画面に戻ります。



登録のしかた

パターン会議の登録

- 同報または簡易同報会議の場合、MCUを4台以上経由して端末を接続できます。この場合、あらかじめ「パターン会議登録」画面で接続元MCU、接続先MCU、参加端末を登録しておく必要があります。

重要

パターン登録を行う前に「他MCUの登録」と「端末情報」で「所属MCUの登録」を行う必要があります。

1 「会議登録」を選択する

「会議登録」画面が表示されます。会議一覧に登録済みの会議が表示されます。

2 「パターン登録」を選択する

「パターン登録」画面が表示されます。

3 登録番号を選択後、「登録」を選択する

パターンを登録する詳細画面が表示されます。

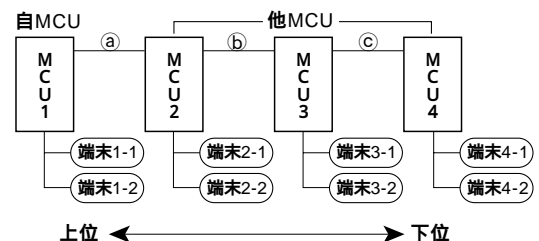
4 「会議名」、「回線接続数」、「接続方法」を入力する

会議の登録と同様に入力または、選択してください。


5 「接続先MCU」と会議参加端末を選択する

右下図を例に説明します。

- 「会議参加端末」を選択し、MCU1に接続されている端末(端末1-1と端末1-2)を登録します。(参加端末登録画面 37ページ)。
- MCU1の下位となるMCU2を「MUC一覧」から選択し、「接続」をクリックします。MCU2が「接続先MCU」に移動します。MCU2がMCU1の接続先として定義(①の関係を定義)したことになります。



③次にMCU2に接続されている端末を定義します。

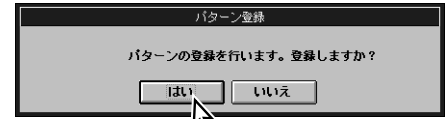
をクリックし、MCU2を「接続元MCU」に移動します。

④「会議参加端末」を選択し、MCU2に接続されている端末(端末2-1と端末2-2)を登録します。

⑤②～④と同様の手順で⑥,⑦の関係と会議参加端末を登録します。

6 「登録」を選択する

「登録」を選択すると確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、設定内容が登録されます。登録を取り消すときは、「いいえ」を選択します。



環境設定のしかた

設定を始める前に

MCUの基本機能やモードの設定は、「環境設定」画面で行います。

1 環境設定を選択し、「環境設定画面」を表示する

2 各種設定から設定する項目を選択する

モード設定 ☞ 43ページ

他MCU登録 ☞ 54ページ

端末情報 ☞ 55ページ

会議グループの登録 ☞ 56ページ

部門コードの登録 ☞ 57ページ

メーカーメンテナンス ☞ この項目は、メーカーサービスマン専用です。メーカーサービスマン以外、使用しないでください。誤って操作すると、メーカーサービス時に支障をきたすことがあります。

プログラム終了 ☞ 18ページ



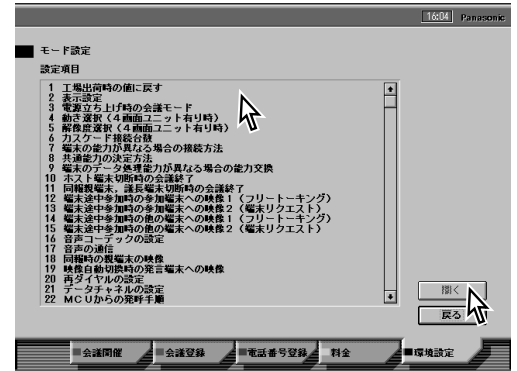
モード設定

MCUの基本機能や動作モードの設定を行います。

- 1 「環境設定」画面で「モード設定」を選択し、「モード設定」画面を表示する

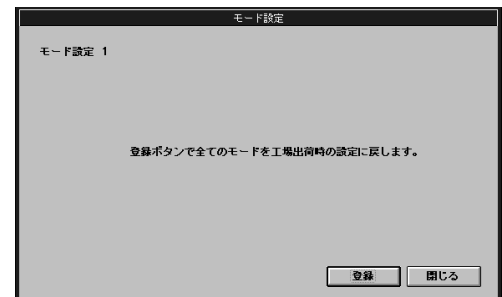


- 2 「モード設定」画面の設定項目から設定したい項目を選択します。「開く」を選択すると設定画面が表示されます。



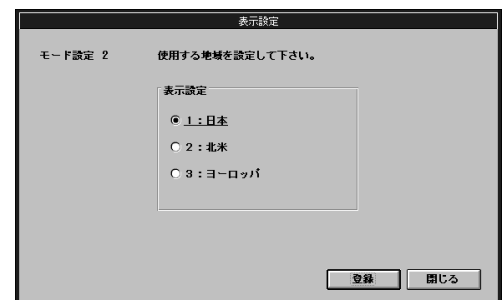
工場出荷時の設定

- 1 モード設定画面で、モード設定1 工場出荷時の設定を選択する
- 2 「登録」を選択すると工場出荷時の設定に戻ります。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



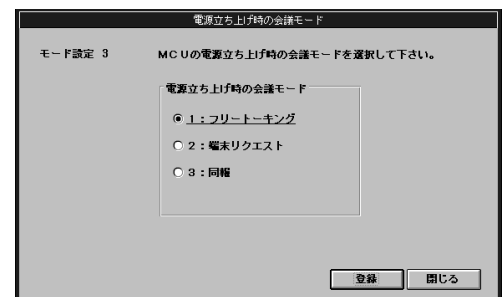
表示設定

- 1 モード設定画面で、モード設定2 表示設定を選択する
- 2 「表示」を選択する
- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



電源立ち上げ時の会議モード

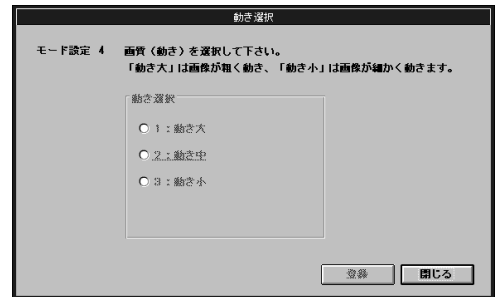
- 1 モード設定画面で、モード設定3 電源立ち上げ時の会議モードを選択する
- 2 電源立ち上げ時の会議モードを選択する
- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



環境設定のしかた

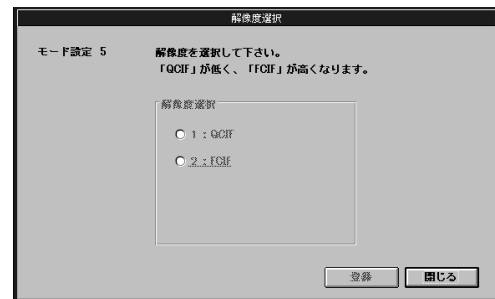
動き選択（画面分割ユニット接続時）

- 1 モード設定画面で、モード設定4（動き選択画面分割ユニット接続時）を選択する
- 2 動きの大、標準、小を選択する
大：スムーズな動き
小：間欠的な動きになります。
- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



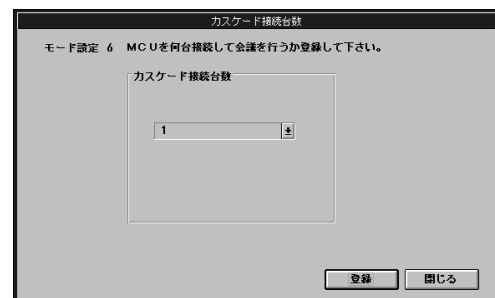
解像度選択

- 1 モード設定画面で、モード設定5 解像度選択を選択する
- 2 動画解像度の高（FCIF）、低（QCIF）を選択する
- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



カスケード接続台数

- 1 モード設定画面で、モード設定6 カスケード接続台数を選択します。
- 2 MCUをカスケードに接続する台数を設定します。
- 3 登録を選択することによって、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



端末の能力が異なる場合の接続方法

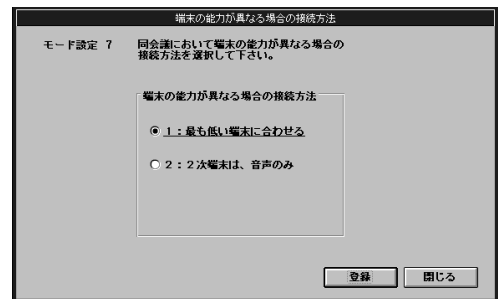
1 モード設定画面で、モード設定 7 端末の能力が異なる場合の接続方法を選択する

2 接続方法を選択する

- ・「能力が最も低い端末の能力に合わせる」に設定した場合 1 端末でも 2 B の能力の端末があれば、回線は、2 B で接続されます。
- ・「能力の低い端末は音声のみ」に設定した場合 能力の低い端末は音声のみで接続されます。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



共通能力の決定方法

会議を始める際には、全ての端末との映像、音声のレートを共通にする必要があります。MCUで共通に設定する能力の決定方法を選択します。

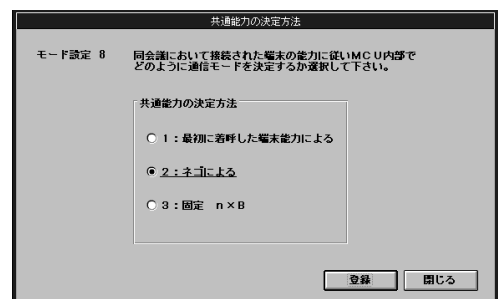
1 モード設定画面で、モード設定 8 共通能力の決定方法を選択する

2 共通能力の決定方法を選択する

- ・「最初に着呼した端末の能力による」
MCUに最初に着呼した端末の能力に全ての端末の能力を合わせます。
- ・「ネゴによる」
MCUで全ての端末の能力を把握し、共通で最も高い能力に端末の能力を合わせます。
- ・「n x B 固定」
MCUは指定された回線数で端末と接続します。この能力に満たない端末は、切断されます。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



環境設定のしかた

端末のデータ処理能力が異なる場合の能力交換

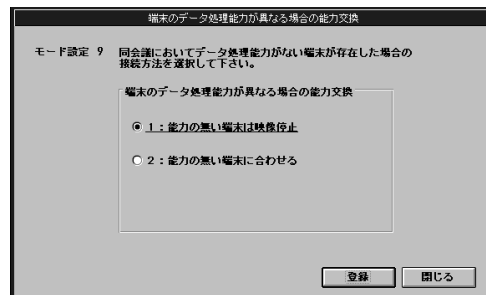
- 端末のデータ処理能力が異なる場合、ある端末からデータを送信すると、能力のある端末では映像も動き続けるが、能力のない端末の映像はデータ送信中停止します。
- 会議に参加する端末の中でデータ処理能力を有していない端末があった場合、データ送信するかしないかを選択します。

1 モード設定画面で、モード設定 9 端末のデータ処理能力が異なる場合の能力交換を選択する

2 データを送信するかどうかを選択する

- 「能力がない端末があってもデータを送信する」
能力のない端末の映像は、データ送信中は停止する。
- 「能力がない端末がある場合はデータ送信しない」
データの送信は行わない。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



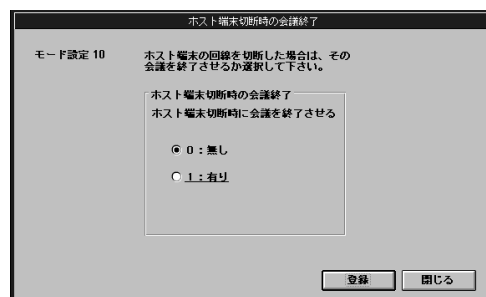
ホスト端末切断時の会議終了

1 モード設定画面で、モード設定10 ホスト端末切断時の会議終了を選択します。

2 ホスト端末切断時の処理を選択する

- 「有り」：ホスト端末が回線を切断したら会議を終了します。
- 「無し」：ホスト端末が回線を切断したら、ホスト端末を交代し会議を続行します。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



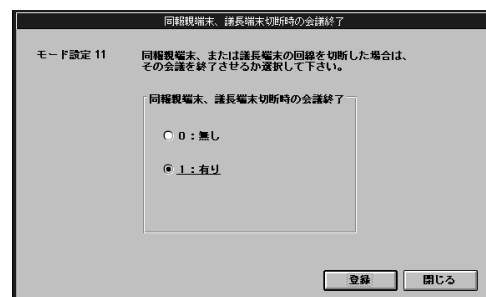
同報親端末、議長端末切断時の会議終了

1 モード設定画面で、モード設定11 同報親端末、議長端末切断時の会議終了を選択します。

2 同報時の親端末または、議長制御時の議長端末が回線を切断した時の処理を選択する

- 「有り」：議長 / 親端末が回線を切断したら会議を終了する
- 「無し」：議長 / 親端末が回線を切断しても会議を続行します。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



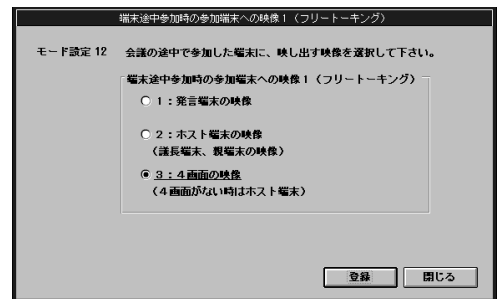
端末途中参加時の参加端末への映像1（フリートーキング）

フリートーキングモードで会議中、追加参加させた端末の映像を設定します。

- 1 モード設定画面で、モード設定12 端末途中参加時の参加端末への映像1(フリートーキング)を選択する

2 参加端末への映像を選択する

- 「発言端末」 : 発言中の端末の映像を送信する。
- 「ホスト端末」 : ホスト端末の映像を送信する。
- 「4画面」 : 4画面の映像を送信する。



- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。

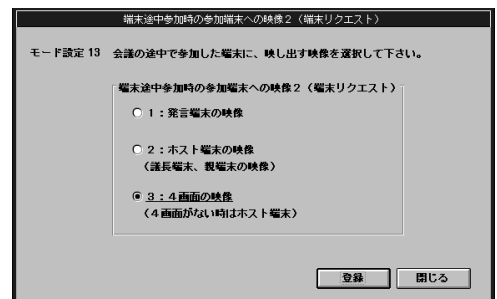
端末途中参加時の参加端末への映像2（端末リクエスト）

端末リクエストで追加参加させた端末の映像を設定します。

- 1 モード設定画面で、モード設定13 端末途中参加時の参加端末への映像2（端末リクエスト）を選択する

2 参加端末への映像を選択する

- 「ホスト端末」 : ホスト端末の映像を送信する。
- 「4画面」 : 4画面の映像を送信する。



- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。

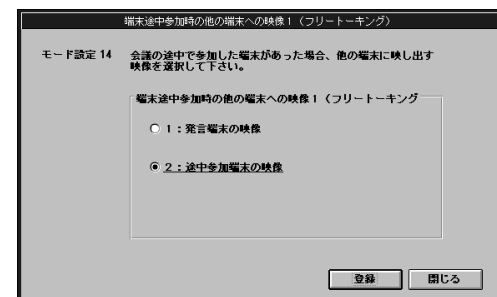
端末途中参加時の他の端末への映像1（フリートーキング）

フリートーキングモードで会議中に端末を追加したとき、他の端末の映像を途中参加端末の映像に切り替えるか切り替えないかを設定します。

- 1 モード設定画面で、モード設定14 端末途中参加時の他の端末への映像1（フリートーキング）を選択する

2 途中参加端末以外の端末への映像を選択する

- 「途中参加端末」 : 途中参加端末の映像を送信する。
- 「発言端末」 : 映像は切り替えない。



- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。

環境設定のしかた

端末途中参加時の他の端末への映像2（端末リクエスト）

端末リクエストで会議中に端末を追加したとき、他の端末の映像を途中参加端末の映像に切り替えるか切り替えないかを設定します。

1 モード設定画面で、モード設定15 端末途中参加時の他の端末への映像2（端末リクエスト）を選択する

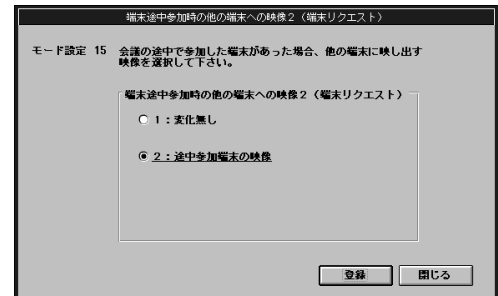
2 途中参加端末以外の端末への映像を選択する

「途中参加端末」：途中参加端末の映像を送信する。

「変更せず」：現在見ている端末の映像を切り替えない。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



音声コーデックの設定

1 モード設定画面で、モード設定16 音声コーデックの設定を選択する

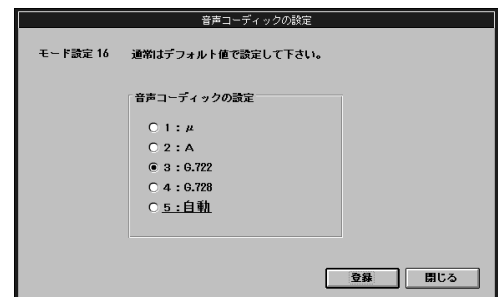
2 音声コーデックの設定を行います。

「μ」, 「A」, 「G.722」, 「G.728」 を選択することによって音声のモードを選択できます。

「自動」を選択することによって、端末の能力に合わせて自動的に音声モードを決定します。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



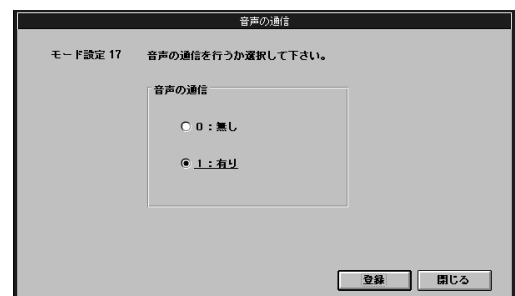
音声の通信

1 モード設定画面で、モード設定17 音声の通信を選択する

2 音声の通信を行う場合には、「有り」行わない場合には「無し」を選択します。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



同報時の親端末の映像

1 モード設定画面で、モード設定18 同報時の親端末の映像を選択する

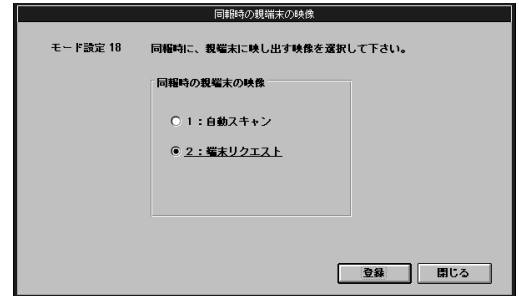
2 同報時の親端末の映像を設定する

「自動スキャン」：会議参加端末の映像を自動的に順に切り替えます。

「端末リクエスト」：親端末で指定した会議参加端末の映像を表示します。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



映像自動切り替え時の発言端末への映像

1 モード設定画面で、モード設定19 映像自動切り替え時の発言端末への映像を選択する

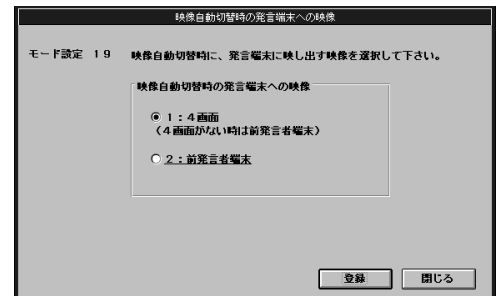
2 発言中の端末への映像を設定する

「4画面」を選択：発言端末には4画面の映像を表示します。

「前発言者端末」を選択：以前の発言端末の映像を表示します。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



再ダイヤルの設定

1 モード設定画面で、モード設定20 ダイヤルの設定を選択する

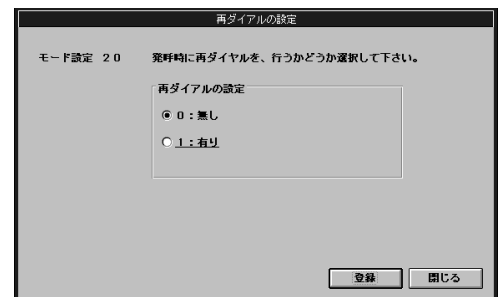
2 回線を接続ができなかった場合に、再ダイヤルするかしないかを設定する

「無し」を選択：再ダイヤルは行いません

「有り」を選択：再ダイヤルを1回行います。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

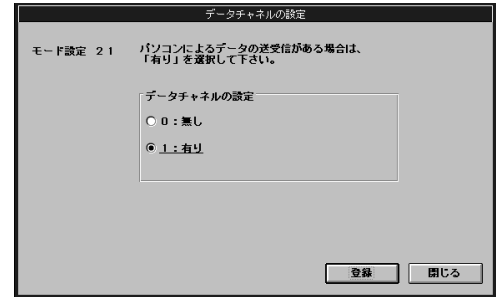
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



環境設定のしかた

データチャネルの設定

- 1 モード設定画面で、モード設定21 データチャネルの設定を選択する
- 2 データチャネル有無を設定する
「無し」を選択：データチャネル (LSD 6.4 kbps)を閉じます。
「有り」を選択：データチャネルを開きます。
- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



MCUからの発呼方法

- 1 モード設定画面で、モード設定22 MCUからの発呼方法を選択する
- 2 MCUからの発呼方法を選択する
 - ・ 「一斉」
MCUからは、参加端末に対して一斉に発呼します。
端末数が少ない場合や接続回線数が4Bまでの場合に設定します。
 - ・ 「個別」
MCUからは、参加端末に対して個別に発呼します。
端末数が多い場合や接続回線数が4B以上の場合に設定します。
- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



「一斉」に設定して回線の接続効率が悪いとき、「個別」に設定し直すと接続効率が上がる場合があります。

使用ポートの設定

1 モード設定画面で、モード設定23 使用ポートの設定を選択する

2 MCUの回線ポートから使用する回線ポートを設定する

回線接続効率の悪いポートを「未使用」にすると、その回線を使用せずに会議を行います。「即時会議開催」画面などの4画面操作で未使用ポートに対して設定を行うと、その端末には発呼しません(☞ 90ページ)。



3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。

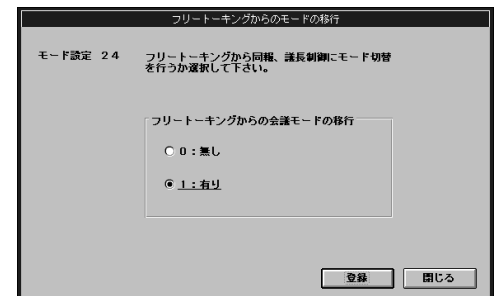
フリートーカーからの会議モードの移行

1 モード設定画面で、モード設定24 フリートーカーからの会議モードの移行を選択する

2 フリートーカーモードから他のモードへの移行を許可するかしないかを選択する

- ・ 「無し」
常にフリートーカーでの会議を行います。会議モードの変更はできません。
- ・ 「有り」

フリートーカーから他のモードへの移行が可能になります。



3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。

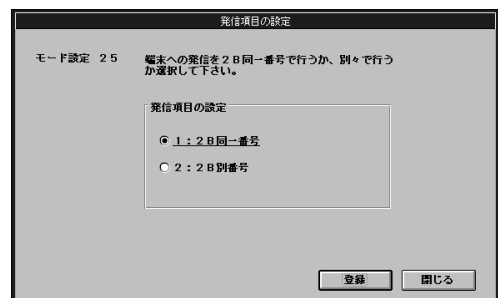
発信項目の設定

1 モード設定画面で、モード設定25 発信項目の設定を選択する

2 端末の電話番号が2B同一番号か、別番号かによって「2B同一番号」・「2B別番号」を設定する

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



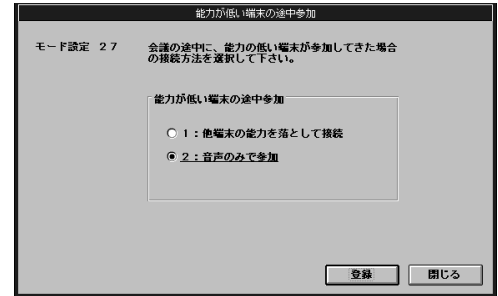
オートパワーオフ

モード設定画面で26「オートパワーオフ」は現在サポートしていません。操作しないでください。

環境設定のしかた

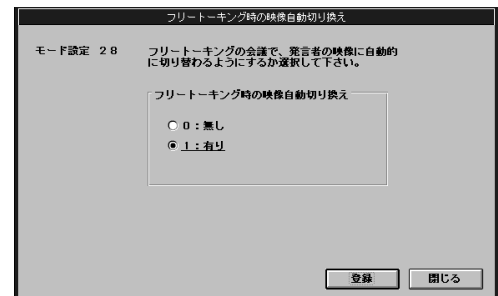
能力が低い端末の途中参加

- 1 モード設定画面で、モード設定27 能力が低い端末の途中参加を選択する
- 2 会議の途中で能力の低い端末が参加した場合の会議の継続のしかたを設定する
 - ・「会議中の端末の能力を落とす」
会議中の端末の能力を落として会議を継続します。
 - ・「音声のみで参加」を選択する
途中で参加した端末は、音声のみで参加し、会議を継続します。
- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



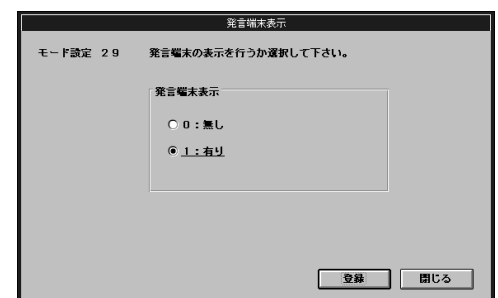
フリートキング時の映像自動切り替え

- 1 モード設定画面で、モード設定28 フリートキング時の映像自動切り替えを選択する
- 2 フリートキング時の映像の自動切り替えを行うか、行わないかを選択する
 - 「無し」：自動切り替えを行わず、端末側で選択した映像を表示します。
 - 「有り」：自動切り替えを行います。
- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



発言端末表示

- 1 モード設定画面で、モード設定29 発言端末表示を選択する
- 2 現在発言中の端末の表示をするか、しないかを選択する
 - 「無し」：表示を行いません。
 - 「有り」：表示を行います。
- 3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。
変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



議長制御モード時の音声

1 モード設定画面で、モード設定30 議長制御モード時の音声を選択する

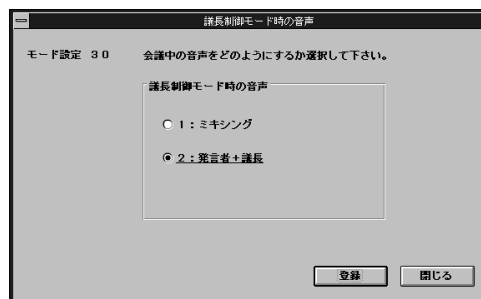
2 議長制御モード時の音声の処理方法を選択する

「ミキシング」：全ての端末の音声をミキシングします。

「議長+発言者」：議長及び発言端末の音声を他の端末に送出します。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



部門コードの設定

1 モード設定画面で、モード設定31 部門コードの設定を選択する

2 会議開催時、会議予約時に部門コードを入力するかしないかを選択する

・「無し」

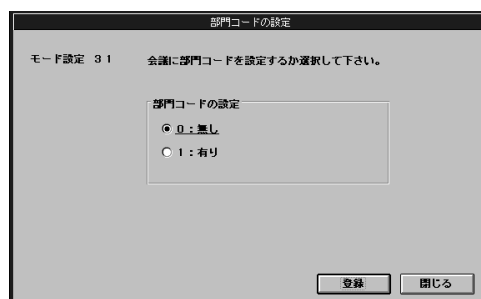
部門コードを入力しなくても会議の予約・開催ができます。

・「有り」

部門コードを必ず入力しなければ会議の予約・開催ができなくなります。また、利用可能な部門コードを登録しておく必要があります(部門コードの登録 57ページ)。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



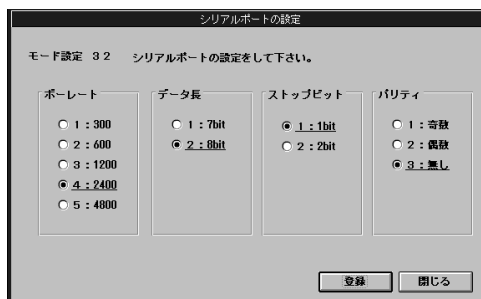
シリアルポートの設定

1 モード設定画面で、モード設定32 シリアルポートの設定を選択する

2 サービスチャネルを使用したシリアルポートの設定を行う(RS-232C分配基板(特注品)が実装されている場合のみ有効です) 接続する機器に合わせて、ボーレート(データ転送速度)、データ長、ストップビット、パリティビットを設定してください。

3 「登録」を選択すると、選択した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。



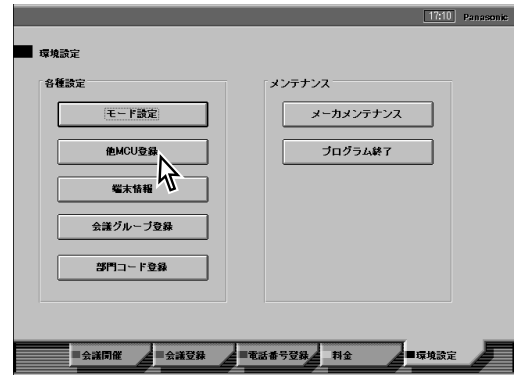
環境設定のしかた

他MCUの登録

INSネットで接続されている他のMCUの電話番号を登録します。電話番号を登録しておくことによってテレビ会議開催時、自MCUから他のMCUを接続し(カスケード接続)、効率良くテレビ会議を行うことができます。カスケード接続を行うには端末ごとに所属するMCUを登録する必要があります。(次ページ)

1 「環境設定」画面で「他MCU登録」を選択する

「環境設定(MCU電話番号登録)」画面が表示されます。



2 MCU一覧から電話番号を登録するMCU番号を選択する

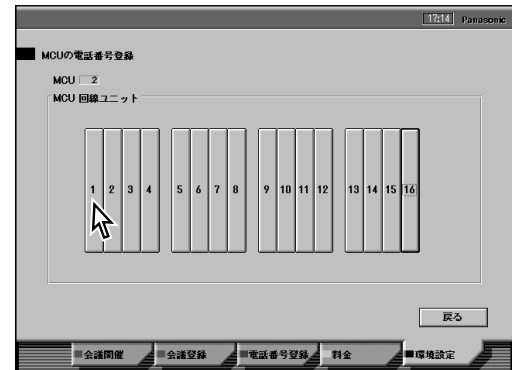
3 「開く」を選択する

選択したMCUに内蔵されている回線ユニットが表示されます。



4 回線ユニット番号を選択する

「環境設定(MCU電話番号登録)」画面が表示されます。



5 情報伝送能力、回線数を選択する

各項目の右にある [±] を選択すると設定可能な項目が一覧表示されます。希望する項目を選択してください。

6 電話番号を入力する

キーボードから電話番号を半角数字で入力してください。回線の数だけ入力する必要があります。



7 「登録」を選択する

設定した内容が登録されます。

変更しないときは、「閉じる」を選択してください。

端末情報の表示

会議中の端末に関して以下の情報を確認できます。

- 端末が接続されているMCU(所属MCU)
- 端末のROMバージョン

- 1 「環境設定」画面で「端末情報」を選択する
「環境設定(端末情報)」画面が表示されます。



- 2 端末一覧から端末名を選択する

端末名を選択してから「所属MCU」または「バージョン」を選択してください。「戻る」を選択すると「環境設定」画面に戻ります。



所属MCUの表示または変更

カスケード接続を行う場合、端末ごとにその端末が所属するMCU(端末に発呼するMCU)を設定しておく必要があります。(詳しくは89ページ)

- 1 「所属MCU」を選択する

現在、端末が所属しているMCUと端末との距離が表示されます。

- 2 端末が所属するMCUを選択する

端末が所属するMCUを変更するとき、所属MCUの選択一覧にある [] を選択します。選択可能なMCUの一覧が表示されます。



- 3 所属MCUからの距離を選択する

所属MCUから端末までの距離(「100km未満」または「100km以上」)を選択してください。

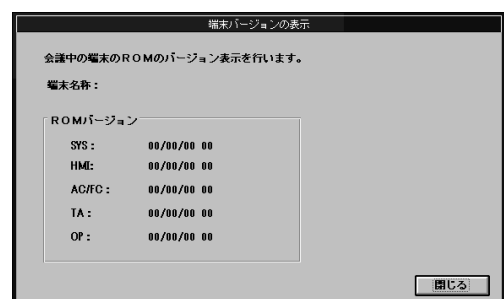
- 4 「登録」を選択する

設定内容がMCUに登録されます。登録しないときは、「閉じる」を選択してください。「環境設定(端末情報)」画面に戻ります。

端末のROMバージョンの表示

- 1 「バージョン」を選択する

会議中の端末のROMバージョンが表示されます。「閉じる」を選択すると、「環境設定(端末情報)」画面に戻ります。



環境設定のしかた

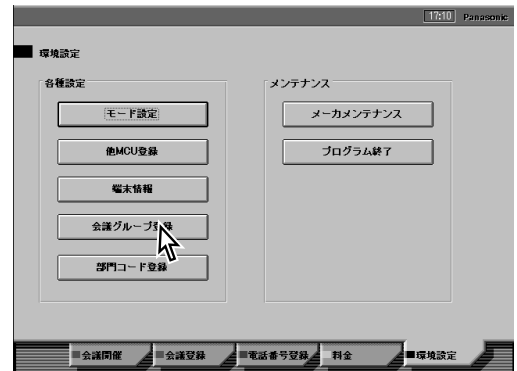
会議グループの登録

会議グループを登録しないと、端末側から会議を設定するとき会議名が表示されません。よく開催される会議名を会議グループに登録しておくことによって、端末側で容易に会議を開催する事ができます。

会議グループについて

会議グループ1と2の内容を端末側で変更すると変更内容が上書き・保存されますが(更新可能)、会議グループ3と4の内容を端末側から変更しても変更内容は保存されません(更新不可)。

1 「環境設定」画面で「会議グループ」を選択する



2 会議名一覧から会議グループに登録する会議名を選択する

3 会議名を登録する番号1～4右の を選択する

4 「設定」を選択する

重要

会議グループから会議名を削除することはできません。他の会議名を再登録してください。



5 「戻る」を選択すると設定内容がMCUに登録され、「環境設定」

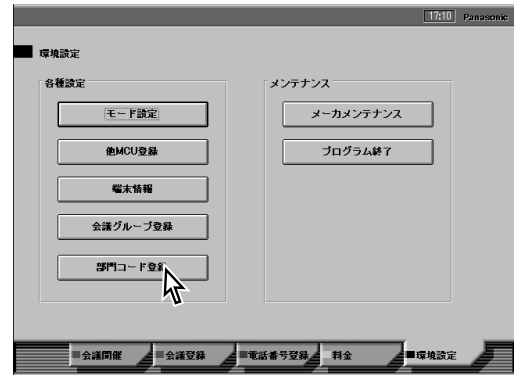
画面に戻ります。

部門コードの登録

モード設定で「部門コード有り」を選択したとき、あらかじめ利用可能な部門コードを登録しておく必要があります。

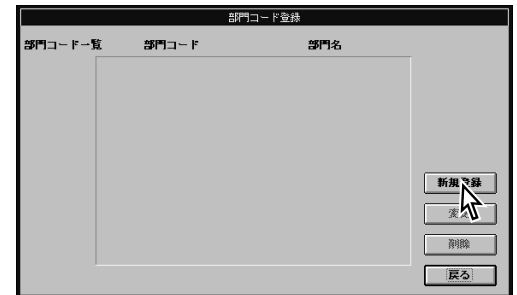
1 「環境設定」画面で「部門コード登録」を選択する

「部門コード登録」画面が表示されます。



2 「新規登録」または「変更」を選択する

部門コードと部門名を入力する画面が表示されます。



3 キーボードから部門コードと部門名を入力する

- 部門コードは英数字半角文字で入力してください。
- 部門名は、漢字、カナ、英字で入力してください。

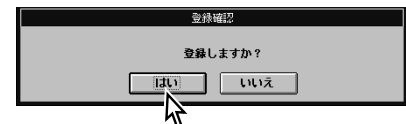


4 「登録」を選択する

部門コードと部署名を入力後「登録」を選択すると「登録確認」画面が表示されます。

「はい」を選択すると部門コードが登録されます。

「いいえ」を選択すると部門コードを登録せずに「部門コード登録」画面に戻ります



部門コードを削除するには

登録した部門コードを削除するときは、部門コード一覧に表示されている部門コードを選択したあと、「削除」を選択してください。

接続のしかた



注意

取り付けは、必ず販売店にご依頼ください。誤った方法で取付作業を行うと、火災・感電・故障の原因となります。

取り付けは、多地点会議制御装置(WG-MP104)、多地点会議増設ユニット(WG-MA100)、画面分割ユニット(WG-MQ100)の主電源を切ってから行ってください。感電や故障の原因となります。

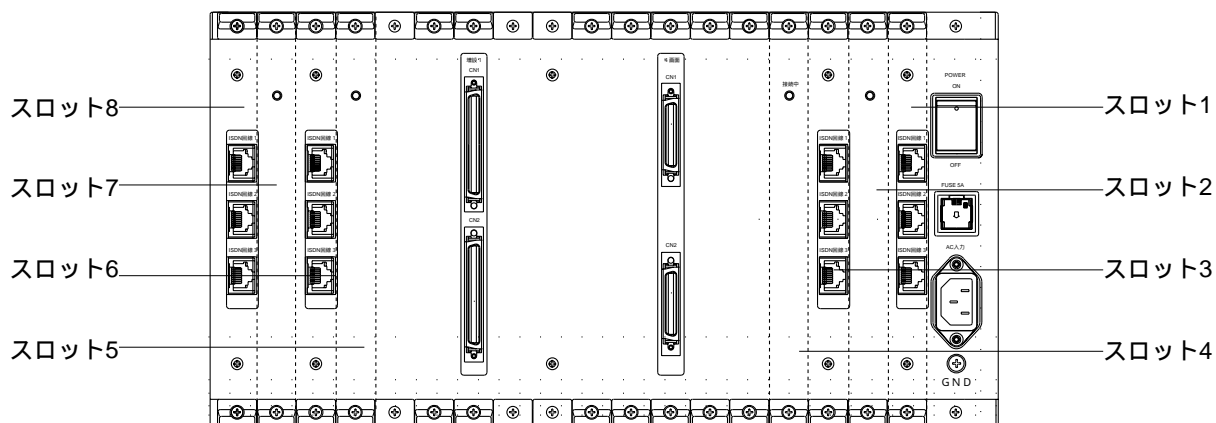
ボードの組み込み

ボードの必要枚数と取り付け位置

5地点以上の地点を結びテレビ会議を行うには、多地点会議増設ユニットを多地点会議制御装置に接続する必要があります。多地点会議増設ユニットには、接続地点数に応じて、オプションの回線インターフェースボード(WG-MB100)と制御ボード(WG-MC100)をペアで組み込んでおく必要があります。

増設値点数 (合計地点数)	必要となるボードの数		取り付けるスロットの番号	
	WG-MB100	WG-MC100	WG-MB100	WG-MC100
1(5)	1	1	1	2
2(6)	2	2	1、3	2、4
3(7)	3	3	1、3、6	2、4、5
4(8)	4	4	1、3、6、8	2、4、5、7

多地点会議増設ユニット後面



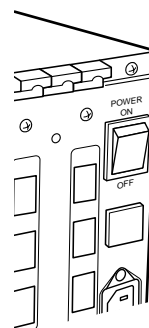
ボードの取り付けかた

多地点会議増設ユニットへの取り付けは、以下に示す手順で行ってください。イラストは、WG-MB100の例です。詳しくは各ボードの取扱説明書をお読みください。

1 多地点会議制御装置、多地点会議増設ユニット及び、画面分割装置の電源が切れていることを確認する

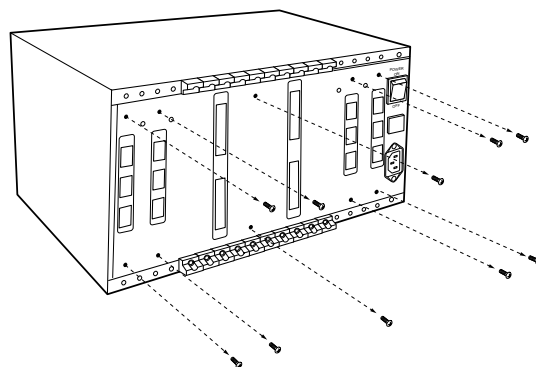
多地点会議制御装置 (WG-MP104)、多地点会議増設ユニット (WG-MA100) 及び、画面分割装置 (WG-MQ100) 後面の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

「ON」になっていたときは、必ず「OFF」にしてください。



2 多地点会議増設ユニット (WG-MA100) の後面パネルを取り外す

ビス (10ヶ所) を外し、後面パネルを取り外します。

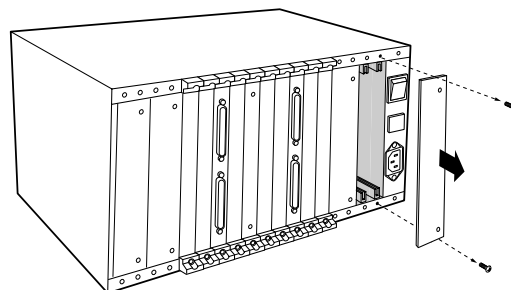


3 ブランクパネルを取り外す

制御ボードを取り付ける位置のブランクパネルを上2ヶ所のビスを外し、取り外します。

お願い

内部に指や工具を入れないでください。

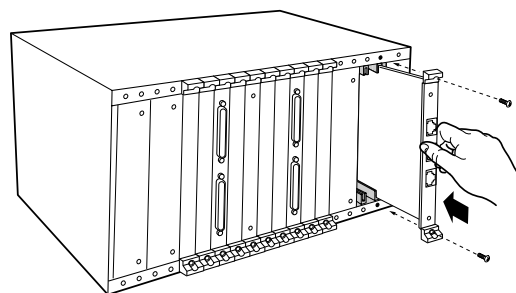


4 制御ボードを取り付ける

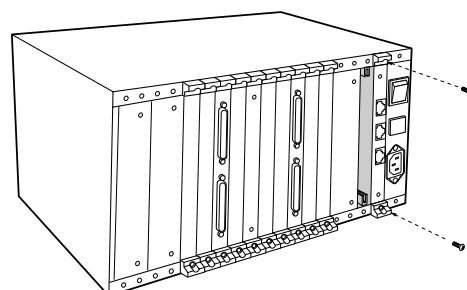
取り外したブランクパネルの位置に、制御ボードの部品面を右 (電源スイッチ) 側にして、取り付け部上下のレールに沿って、制御ボードをゆっくり差し込みます。

お願い

基板上的部品にさわらないでください。静電気により部品を破損する恐れがあります。

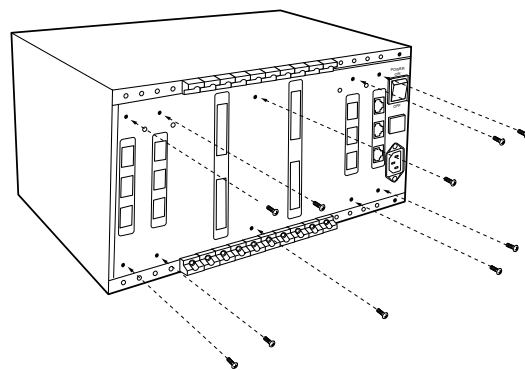


制御ボードのコネクタと多地点会議増設ユニット (マザーボード) のコネクタがしっかり接続されるように押し込み、ビス (2ヶ所) をしめて制御ボードを固定します。



接続のしかた

- 5 外した後面パネルを取り付ける
後面パネルをビス（10ヶ所）で取り付けます。

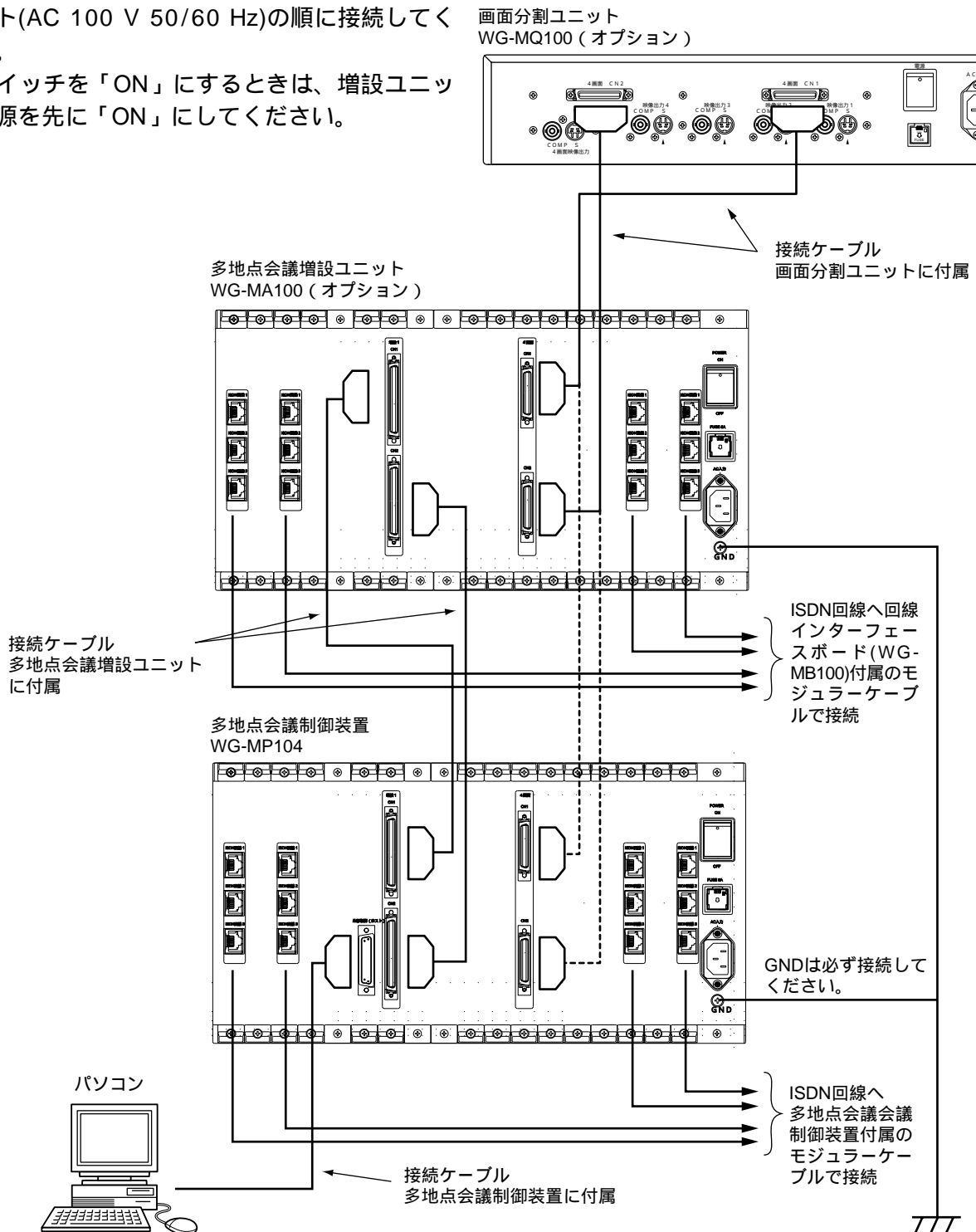


接続のしかた

接続のしかた

以下の手順にしたがって接続してください。

- ①各機器の電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②各機器を下図のように接続してください。
- ③接続完了後、接続誤りがないか、ケーブルがしっかりとコネクタに接続されているかを確認してください。
- ④電源ケーブルを電源ケーブル接続コネクタ、コンセント(AC 100 V 50/60 Hz)の順に接続してください。
- ⑤電源スイッチを「ON」にするときは、増設ユニットの電源を先に「ON」にしてください。



接続のしかた

モジュラーケーブルの接続のしかた

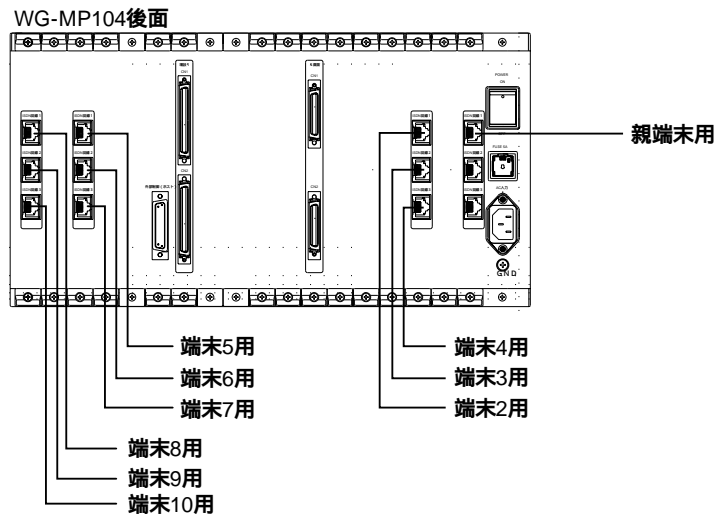
MCUを使用した簡易同報(2B専用)とフリートーキング(同報含む)ではMCUからの端末の接続方法が異なります。簡易同報を行う場合、以下のようにモジュラーケーブルを接続する必要があります。

簡易同報だけを行う場合(カスケード接続無し)

端末構成例

親端末：端末1

子端末：端末2～9

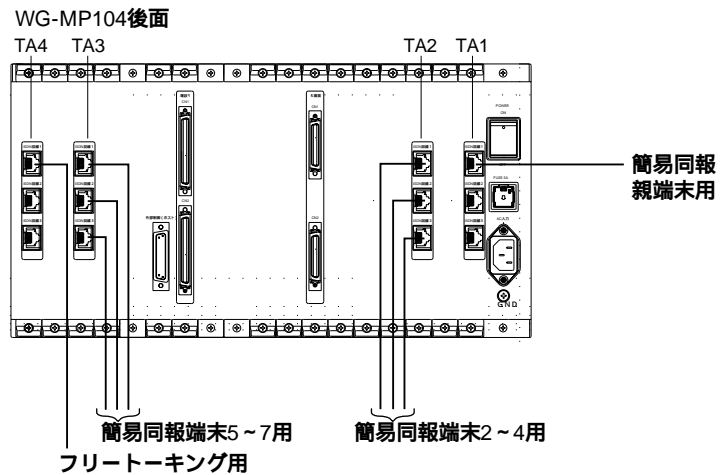


簡易同報とフリートーキング(または同報)を行う場合(カスケード接続無し)

端末構成例

フリートーキング：4地点(2Bのみ)

簡易同報：7地点

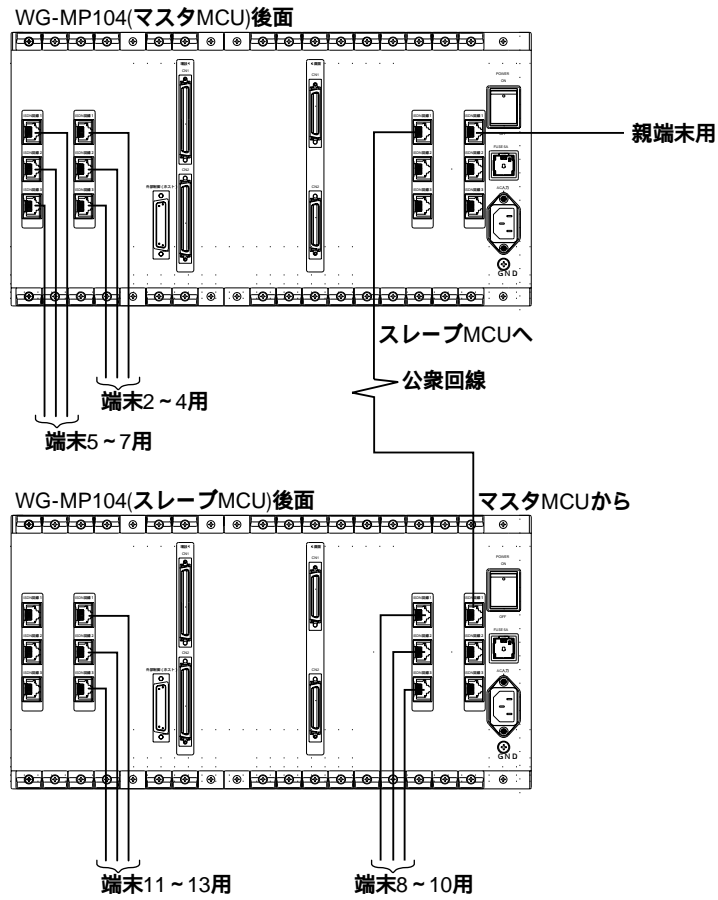


TA4にフリートーキング(または同報)会議を行うためのモジュラーケーブルを接続します。簡易同報(親端末用)のモジュラーケーブルをTA1に接続し、簡易同報端末2から7用のモジュラーケーブルをTA2とTA3に接続します。

カスケード接続で簡易同報を行う場合

MCUをカスケード接続して簡易同報を行う場合、マスタMCU(主となるMCU)からスレーブMCU(従となるMCU)へ公衆網(INSネット64)を経由して接続します。

端末13台をカスケード接続で接続する場合以下のように接続します。



付 録

ここでは、故障と思われる前に確認していただきたい項目と、設定画面の参考資料、機器の定格・付属品などについて説明します。

故障と思われましたら	66
操作誘導メッセージ	67
状態表示メッセージ	70
登録・設定画面体系図	82
カスケード接続時の所属MCUの考え方	89
4画面操作を行うときのご注意	90
定格・付属品	93

故障と思われましたら

修理を依頼する前に、もう一度次の事項を確認してください。確認してもなお異常のあるときは、販売店にご連絡ください。

回線接続前の問題

現 象	確 認 し て い た だ く 内 容
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。・背面のヒューズが切れていないことを確認してください。
<ul style="list-style-type: none">・パソコンから操作できない・MCUコントロールプログラムを起動しても初期画面にならない	<ul style="list-style-type: none">・ホストとMCUを接続しているケーブルがきちんと接続されているか確認してください。
<ul style="list-style-type: none">・パソコンから操作できない・MCUコントロールプログラムを起動しても初期画面にならない	<ul style="list-style-type: none">・ホスト - MCUを接続しているケーブルがきちんと接続されているか確認してください。

回線接続中の問題

現 象	確 認 し て い た だ く 内 容
回線を接続できない	<ul style="list-style-type: none">・モジュラーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。・会議参加端末の電源が入っているか確認してください。
4画面表示にならない	<ul style="list-style-type: none">・画面分割ユニットが正しく接続されていることを確認してください。・4画面表示にする端末が正しく登録されていることを確認してください(4画面操作画面 ☞ 38,90ページ)

操作誘導メッセージ

メッセージタイトル	メッセージ	内容	ボタン
部門コード登録	部門コードと部門名を入力してください。 部門コード <input type="text"/> 部門名 <input type="text"/>	登録する部門コードと部門名の入力要求	[確認] : 登録確認メッセージ [取消] : 登録作業中止
登録確認	登録しますか?	入力した部門コードを登録してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 登録する [いいえ] : 登録しない
部門コード変更	変更する部門コードと部門名を入力してください。 部門コード <input type="text"/> 部門名 <input type="text"/>	変更する部門コードと部門名の入力要求	[確認] : 変更確認メッセージ [取消] : 変更作業中止
変更確認	変更しますか?	部門コードと部門名を変更してよいかを再確認するメッセージ	[はい] : 変更する [いいえ] : 変更しない
削除確認	削除しますか?	選択した部門コードと部門名を削除してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 登録する [いいえ] : 登録しない
登録確認	MCUの電話番号を登録しますか?	入力した電話番号を登録してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 登録する [いいえ] : 登録しない
端末削除確認	端末を削除しても、登録済の会議には反映されません。端末を削除しますか?	選択した端末を削除してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 削除する [いいえ] : 削除しない
登録確認	端末の電話番号を登録しますか?	入力した電話番号を登録してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 登録する [いいえ] : 登録しない
登録確認	MCUを登録しますか?	選択したMCUの電話番号を登録してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 登録する [いいえ] : 登録しない
会議終了確認	ただいま会議中です。会議を終了しますか?	会議中の会議を終了してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 終了する [いいえ] : 終了しない

操作誘導メッセージ

メッセージタイトル	メッセージ	内容	ボタン
予約登録確認	予約の登録を行います。登録しますか？	入力内容を登録してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 変更する [いいえ] : 変更しない
予約番号入力	予約番号を入力してください。 <input type="text"/>	予約番号の入力要求	[確認] : 処理継続 [取消] : 作業中止
予約変更確認	予約の変更を行います。変更しますか？	予約内容を変更してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 変更する [いいえ] : 変更しない
予約削除確認	予約を削除します。よろしいですか？	選択した予約データを削除してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 削除する [いいえ] : 削除しない
パターン登録	パターンの登録を行います。登録しますか？	パターン会議の内容を登録してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 登録する [いいえ] : 登録しない
パターン削除	パターンの削除を行います。削除しますか？	選択したパターンデータを削除してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 削除する [いいえ] : 削除しない
登録確認	会議を登録しますか？	入力したデータを会議として登録してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 登録する [いいえ] : 登録しない
登録削除確認	会議の登録を抹消しますか？	選択した会議のデータを削除してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 削除する [いいえ] : 削除しない
登録確認	その会議名は存在します。上書きしますか？	既に登録してある会議の内容を変更してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 上書きする [いいえ] : 登録作業中止
メモリクリア	MCU起動時に、メモリをクリアしますか？	MCU起動時にMCUのメモリを初期化してよいかを確認するメッセージ。バージョンアップ時になどメモリを初期化する必要があります。	[はい] : 初期化する [いいえ] : 初期化しない

メッセージタイトル	メッセージ	内容	ボタン
終了確認	プログラムを終了しますか？	プログラムを終了してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 終了する [いいえ] : 終了しない
パスワード入力	パスワードを入力してください。 <input type="text"/>	パスワードの入力要求	[確認] : 処理継続 [取消] : 作業中止
回線切断確認	回線を切断しますか？	リモートPC - ローカルPC間の回線を切断してよいかを確認するメッセージ	[はい] : 切断する [いいえ] : 切断しない
回線切断失敗	回線の切断に失敗しました。リトライしますか？	リモートPC - ローカルPC間の回線切断処理を再度行うかを確認するメッセージ	[はい] : 切断する [いいえ] : 切断しない
変更確認	同一コードが既に存在します。上書きしますか？	部門コードに付随しているデータ(部門名)を変更し、上書きしてよいか確認するメッセージ	[はい] : 変更する [いいえ] : 変更しない

状態表示メッセージ

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
電話	追加地点数分の回線数が不足しています。	MCUの回線数が足りません。	追加端末数を回線数にあった端末数に減らして会議を行う。
電話	累積端末数がオーバーしています。	会議に参加しようとする電話発呼数が回線数をオーバーしています。	
電話	MCUが処理中です。操作をもう一度行ってください。	MCUが他の処理を行っているため電話の参加ができません。	一定時間経過後、再度追加発呼を行ってください。
月毎料金計算中	ローカルの計算結果待ちです。	ローカルPCで月毎料金を計算中です。	計算が終了するまでお待ちください。
端末毎料金計算中	ローカルの計算結果待ちです。	ローカルPCで端末毎料金を計算中です。	計算が終了するまでお待ちください。
会議毎料金計算中	ローカルの計算結果待ちです。	ローカルPCで会議毎料金を計算中です。	計算が終了するまでお待ちください。
部門毎料金計算中	ローカルの計算結果待ちです。	ローカルPCで部門毎料金を計算中です。	計算が終了するまでお待ちください。
ローカルビジー	現在料金計算は行えません。	ローカルPCが他の処理を行っているため、料金の計算ができません。	一定時間経過後、再度料金表示を行ってください。
予約削除	予約の削除が完了しました。	指定した予約を削除しました。	
パターン予約変更	予約の変更が完了しました。	指定した予約データを変更しました。	

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
パターン会議開催	会議開催の設定中です。	会議開催の設定中です。	設定が完了するまでお待ちください。
予約登録完了	予約の登録が完了しました。予約番号を控えて下さい。	予約の登録を完了しました。	
即時会議開催	会議の設定中です。	即時会議の開催の設定中です。	設定が完了するまでお待ちください。
議長交代	議長端末の交代中です。	選択した端末を議長端末に設定中です。	設定が完了するまでお待ちください。
議長交代	端末能力なしのため、交代ができません。	選択した端末が議長端末となる能力がありません。	他の端末を選択して下さい。
議長交代	交代地点なしのため、交代ができません。	選択した端末がMCUに登録されていません。	MCUに登録されている端末を選択してください。必要ならば端末を登録してください。
議長交代	会議モード不一致のため、交代ができません。	選択した端末が開催中の会議モードに対応していません。	他の端末を選択してください。必要ならば端末を再登録してください。
親交代	親端末の交代中です。	選択した端末を親端末に設定中です。	設定が完了するまでお待ちください。
指定端末切断	指定の端末を切断中です。	選択した端末の切断処理中です。	処理が完了するまでお待ちください。
ホスト交代	ホスト端末の交代中です。	選択した端末をホスト端末に設定中です。	設定が完了するまでお待ちください。

状態表示メッセージ

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
ホスト交代	端末能力なしのため、交代できません。	選択した端末がホスト端末となる能力がありません。	他の端末を選択して下さい。
ホスト交代	交代地点なしのため、交代ができません。	選択した端末がMCUに登録されていません。	MCUに登録されている端末を選択してください。必要ならば端末を登録してください。
参加端末	指定の端末の接続中です。	選択した端末を参加端末として接続中です。	設定が完了するまでお待ちください。
参加端末	累積端末数がオーバーしています。	会議に参加しようとする端末の追加発呼数がオーバーしています。	追加発呼する端末数を減らしてください。
参加端末	追加地点数分の回線数がありません。	選択した端末数に対し、空き回線数が不足しています。	追加する端末の数を減らしてください。
参加端末	MCUが処理中です。操作をもう一度行って下さい。	MCUが他の処理を行っているとき、端末の参加はできません。	しばらく待ってから、再度追加発呼して下さい。
予約変更結果	予約の変更が完了しました。		
パターン登録	登録が完了しました。	パターン会議の登録が完了しました。	
パターン削除	削除が完了しました。	パターン会議の削除が完了しました。	

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
データ強制切換	強制切換中・・・	選択した端末のデータを各端末に分配中です。	処理が終わりまでお待ち下さい。
データ強制切換	端末能力なし	データを切り替えようとした端末に能力がありません。	その端末のデータを切り替えることはできません。
データ強制切換	交代地点なし(空き)	選択した端末がMCUに登録されていません。	MCUに登録されている端末を選択して下さい。必要ならば端末をMCUに登録してください。
データ強制切換	会議モード不一致	選択した端末が切り替えようとした会議モードに対応していません。	会議モードに対応できる端末を選択してください。
データ強制切換	静止画送信中	静止画を送信中は、データを切り替えることはできません。	静止画の送信が終了してから再実行してください。
映像強制切換	強制切換中・・・	選択した端末の映像を各端末に分配中です。	処理が終わるまでお待ちください。
映像強制切換	端末能力なし	映像を切り替えようとした端末に能力がありません。	その端末の映像を切り替えることはできません。
映像強制切換	交代地点なし(空き)	選択した端末がMCUに登録されていません。	MCUに登録されている端末を選択してください。必要ならば端末を登録してください。
映像強制切換	会議モード不一致	選択した端末が切り替えようとした会議モードに対応していません。	会議モードに対応できる端末を選択してください。

状態表示メッセージ

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
ループバック	ループバックテスト中です。	ループバックテストを行っています。	テストを終了するときは[終了]ボタンを選択してください。
ループバック	設定された全端末が会議中ではありません。	会議中の端末がありません。	会議開催中にテストする必要があります。
会議設定 即時会議開催結果 予約会議会債結果	会議の開催ができませんでした。 (空き回線なし)	空き回線がないため、会議の開催ができません。	
会議設定 即時会議開催結果 予約会議会債結果	会議の開催ができませんでした。 (空きグループなし)	空きグループがないため、会議の開催ができません。	
会議開催不能	カスケード先の回線数が不足しています。	接続先MCUの回線数が不足しています。	
会議終了	会議が終了しました。		
ローディング	ローディングが完了しました。		
ローディング	ローディングを中止しました。	[中止]ボタンが押されたためローディング処理を中止しました。	
ローディングエラー	EEPROM書き込みエラーです。	EEPROMへの書き込みに失敗しました。	
ローディング	通信異常によりローディング処理を中止しました。	一定時間経過してもMCUから応答がありませんでした。このため、ローディング処理を中止しました。	

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
自動終了	10分間操作が行われなかったためプログラムを終了します。	PC間で10分間通信がなかったため自動的に回線を切断しました。	
回線切断	リモートの回線が切断されました。	ローカルPC - リモートPC間の回線が切断されました。	
回線切断	ローカルからの回線が切断されました。	ローカルPC - リモートPC間の回線が切断されました。または、モジュラーケーブルが抜かれました。	
ハードウェア異常	ポートオープンエラー	他のアプリケーション(異常終了したホストPC含む)がMCUのポートを使用しています。または、ポートの設定に誤りがあります。	MCU設定ポートを再設定してください。再設定しても異常があるときは、MS-Windowsを再起動してください。
ハードウェア異常	モデムのポートがオープンされませんでした。	他のアプリケーションがモデムのポートを使用しています。または、ポートの設定に誤りがあります。	モデムのポートを再設定してください。再設定しても異常があるときは、MS-Windowsを再起動してください。
通信異常	通信が途絶えたためプログラムを終了します。	PCとMCU間のケーブルが抜けているか、MCUの電源が切られた。	ケーブルの接続を確認してください。 電源スイッチがONになっていることを確認してください。
モデムの初期化	モデムの初期化中です。		処理が終了するまでお待ちください。
モデムの初期化	モデムの初期化に成功しました。		
モデムの初期化	モデムの初期化に失敗しました。	モデムの設定に誤りがあります。	モデムの設定を確認してください。
モデムの初期化	モデムが接続されていないか何か異常があります。	モデムから応答がありません。	モデムの接続ポート及びモデムの設定を確認してください。

状態表示メッセージ

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
ハードウェア異常	モデムの準備ができていません。	モデムのポートをオープンする前にコマンドを送信しました。	プログラムを終了し、再起動してください。
ハードウェア異常	通信ポートが重複しています。	MCUとモデムの接続ポートが重複しています。	MCUまたはモデムの接続ポートを変更してください。
MCU異常	MCUの電源が入ってないか、ケーブルが抜けています。	ローカルPCとMCUが正しく接続されていません。	ローカルPCとMCUが正しく接続されているか確認してください。
回線切断失敗	回線の切断に失敗しました。リトライしますか？	モデムに再度切断要求出すかの問い合わせメッセージ	2回または3回失敗したらモデムの電源を切るか電話線を抜いて切断してください。
通信異常	接続相手からの応答がありませんでした。		ケーブル等の接続を確認してください。
通信異常	送信キューがあふれました。	障害が発生しています。システムを再起動してください。	システムの電源を切り、再起動してください。
通信異常	電源やケーブルの確認をして下さい。	MCUの電源は入っていないかケーブルが抜けています。	各ケーブルが正しく接続されているか確認して下さい。その後、電源スイッチがONになっているかを確認して下さい。
変更確認	部門コードが入力されていません。	部門コードを入力しないで、部門コードを変更しようとしています。	部門コードを入力してください。
変更確認	予約コードには変更できません。	入力した部門コードは部門コードとして登録できません。	部門コードを再入力して下さい。
登録確認	登録件数が最大です。	部門コードの登録件数が10000件を超えました。	不要な部門コードを削除して再登録してください。

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
登録確認	部門コードが入力されていません。	部門コードを入力しないで、部門コードを登録しようとしています。	部門コードを入力してください。
登録確認	指定の部門コードは予約コードのため、登録できません。	入力した部門コードは、既に登録されています。	部門コードを変えて登録してください。
日付確認	過去の日付は選べません。	過去の日付を選択しています。	現在日以後の日付をカレンダーで選択してください。
端末名確認	端末名が入力されていません。	端末名を入力しないで端末を登録しようとしています。	端末名を入力してください。
電話番号確認	電話番号が正しく入力されていません。	電話番号が入力されていない部分があります。	回線数分電話番号を入力してください。
電話	電話番号を入力してください。	電話番号を入力しないで開始しようとしています。	電話番号を入力してください。
予約削除	予約番号が違います。	間違った予約番号を入力しています。	正しい予約番号を入力してください。
予約削除	開催中の会議は削除できません。	現在開催中の予約会議の予約データを削除しようとしています。	
予約登録結果	この予約は会議中なので変更できません。	現在開催中の会議に対して予約データを変更しようとしています。	
予約番号誤り	予約番号が違います。	選択した予約会議の予約番号と違う予約番号を入力しています。	正しい予約番号を入力してください。
予約変更	指定の予約は会議中のため、変更できません。	現在開催中の会議に対して予約データを変更しようとしています。	正しい予約番号を入力してください。

状態表示メッセージ

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
パターン会議開催	会議が登録されていません。	登録されていないパターン会議を選択しています。	登録されているパターン会議を選択してください。 必要ならばパターン会議を登録してください。
パターン予約登録 パターン予約変更	指定の時間では予約できません。	指定した予約時間帯は、予約最大数を超えているため、予約できません。	予約時間を変更してください。
パターン予約登録 パターン予約変更	終了時間がTT：MMまでなら会議の予約ができます。	既にTT：MM以後、他の会議が予約されています。	終了時間をTT：MMに変更すれば予約できます。
パターン予約登録 パターン予約変更	端末xxが重複しています。	指定した予約時間帯で、端末xxは他の会議参加端末として予約されています。	予約時間を変更する、または端末xxを参加端末から削除してください。
パターン予約変更	端末xxほかx端末が重複しています。	指定した予約時間帯で、複数の端末が他の会議参加端末として予約されています。	予約時間を変更する、または重複している端末参加端末から削除してください。
パターン予約登録 パターン予約変更	この予約は会議中のため、変更できません。	現在開催中の予約会議データを変更しようとしています。	
パターン予約登録	予約数がオーバーしています。	指定した予約時間帯は、予約最大数を超過しているため、予約できません。	予約時間を変更してください。
会議名確認	会議名が入力されていません。	会議名を入力しないで会議を開始または登録しようとしています。	会議名を入力してください。
部門コード確認	部門コードが入力されていません。	部門コードを入力しないで会議を開始または登録しようとしています。	登録されている部門コードを入力してください。
部門コード確認	指定の部門コードは使用できません。	使用できない部門コードを入力しています。	登録されている部門コードを入力してください。

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
部門コード確認	指定の部門コードは登録されていません。	登録されていない部門コードを入力しています。	登録されている部門コードを入力してください。必要ならば、部門コードを追加登録してください。
予約変更	指定の時間では予約できません。	変更した予約時間帯は、予約最大数を超過しているため、予約できません。	予約時間を変更してください。
予約変更	終了時間がTT：MMまでなら会議の予約ができます。	既にTT：MM以後、他の会議が予約されています。	終了時間をTT：MMに変更すれば予約できます。
予約変更	端末番号xxが重複しています。	指定した予約時間帯で、端末xxは他の会議参加端末として予約されています。	予約時間を変更する、または端末xxを参加端末から削除してください。
予約変更	端末番号xxほかx端末が重複しています。	指定した予約時間帯で、複数の端末が他の会議参加端末として予約されています。	予約時間を変更する、または重複している端末を参加端末から削除してください。
予約変更	この予約は会議中のため、変更できません。	現在開催中の予約会議データを変更しようとしています。	
予約登録	終了時間がTT：MMまでなら会議の予約ができます。	既にTT：MM以後、他の会議が予約されています。	終了時間をTT：MMに変更すれば予約できます。
予約登録	端末番号xxが重複しています。	指定した予約時間帯で、端末xxは他の会議参加端末として予約されています。	予約時間を変更する、または端末xxを参加端末から削除してください。
予約登録	端末番号xxほかx端末が重複しています。	指定した予約時間帯で、複数の端末が他の会議参加端末として予約されています。	予約時間を変更する、または重複している端末を参加端末から削除してください。
予約登録	この予約は会議中のため、変更できません。	現在開催中の予約会議データを変更しようとしています。	
予約登録	予約数がオーバーしています。	指定した予約時間帯は、予約最大数を超過しているため、予約できません。	予約時間帯を変更してください。

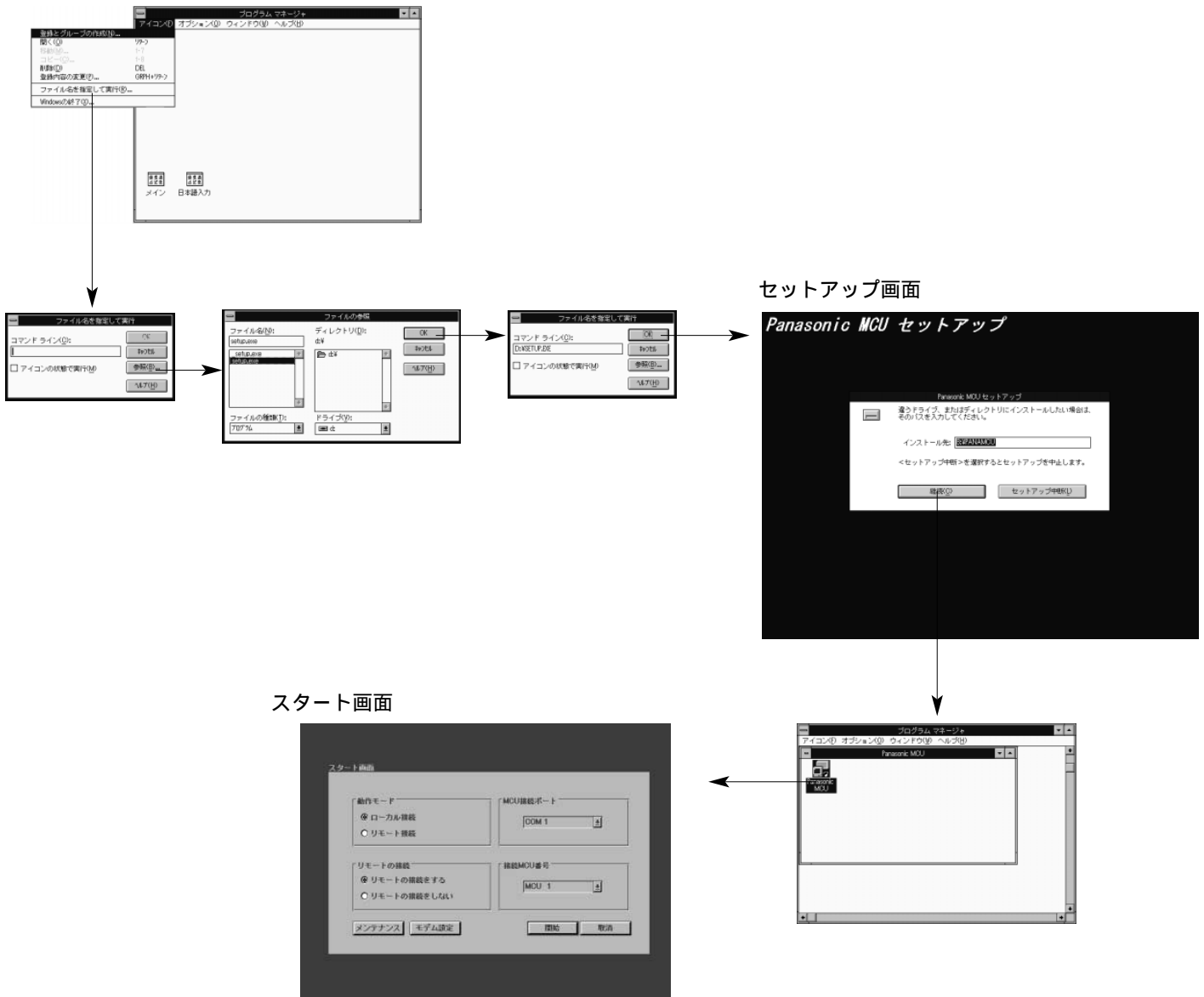
状態表示メッセージ

メッセージタイトル	メッセージ	理由	対応
4画面確認	端末が重複しています。	既に設定されている端末に対し、設定しようとしています。	
4画面確認	画面が設定されていません。	端末が設定されていません。	端末を設定してください。
会議名確認	同一会議名が既に他の番号で登録されています。	既に登録されているパターン会議名で登録しようとしています。	会議名を変更してください。
パターン登録	パターン情報が設定されていません。	パターン情報を設定しないで登録しようとしています。	パターン情報を設定してください。
非接続確認	下位に接続されているMCUから非接続にしてください。	切断しようとしたMCUには、他のMCUが接続されています。	下位に接続されているMCUから切断してください。
削除確認	会議が登録されていないので削除できません。	登録されていない会議を選択しています。	
パスワード入力	パスワードが違います。	入力したパスワードに誤りがあります。	正しいパスワードを入力してください。
ローディング	ファイル名を入力して下さい。	ファイル名が入力されていません。	ファイル名を入力してください。
ローディング	指定のファイルは存在しません。	入力したファイル名に誤りがあります。	ファイル名を確認し、正しいファイル名を入力して下さい。
ローディング	会議中のためローディングできません。	開催中の会議があるときは、ローディング処理は実行できません。	会議が終了してからローディング処理を再実行してください。
ローカルビジー	現在ローディングは行えません。	ローカルPCが他の処理を行っているとき、ローディング処理は行えません。	しばらくしてから、ローディングを再実行してください。

登録・設定画面体系図

MCUコントロールプログラムの登録・開始

プログラムマネージャー(MS-Windows)



環境設定

モード設定



プログラマネージャ (MS-Windows)



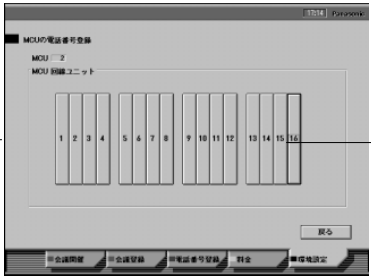
部門コード



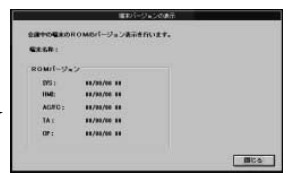
会議グループの登録



他MCU

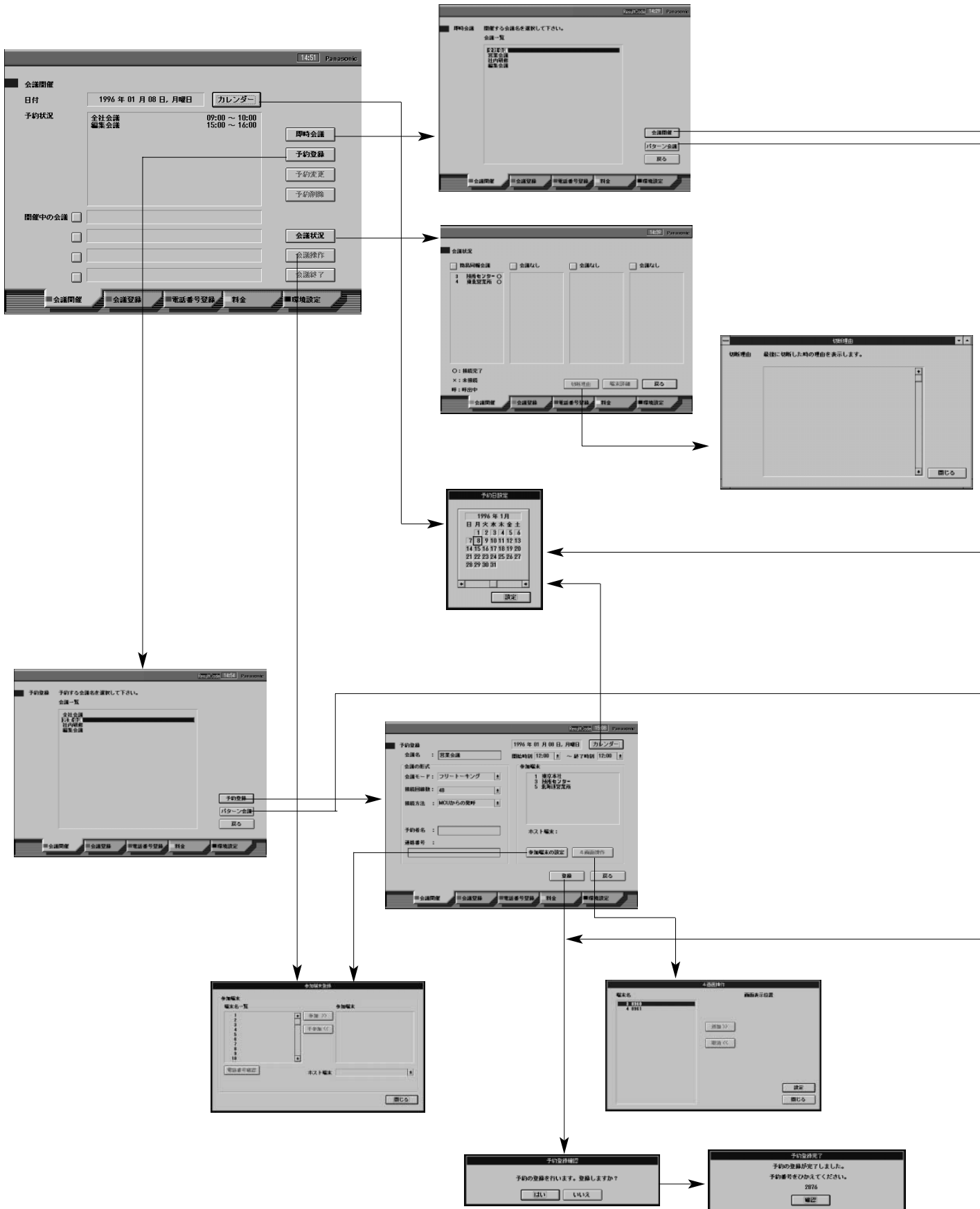


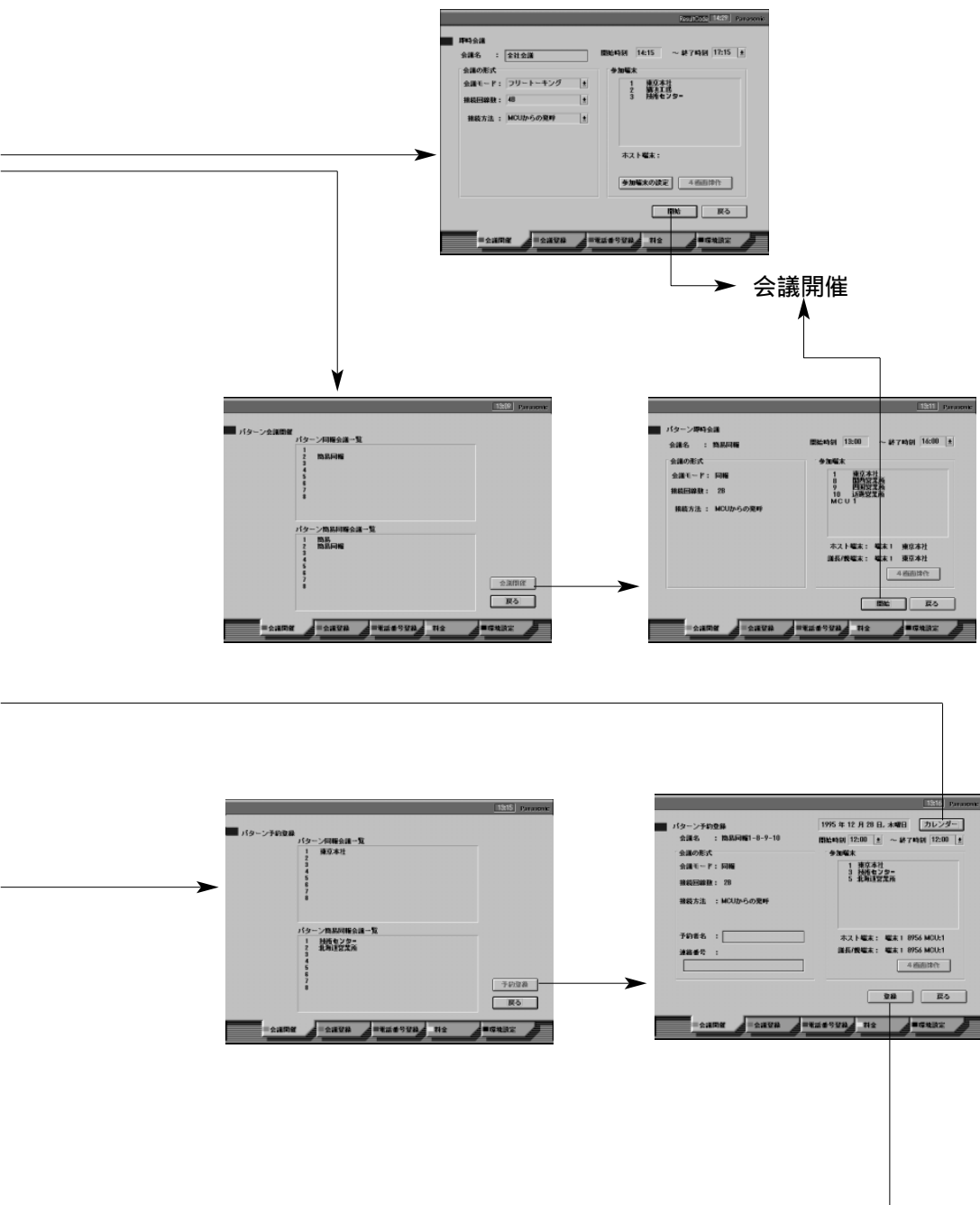
端末情報



登録・設定画面体系図

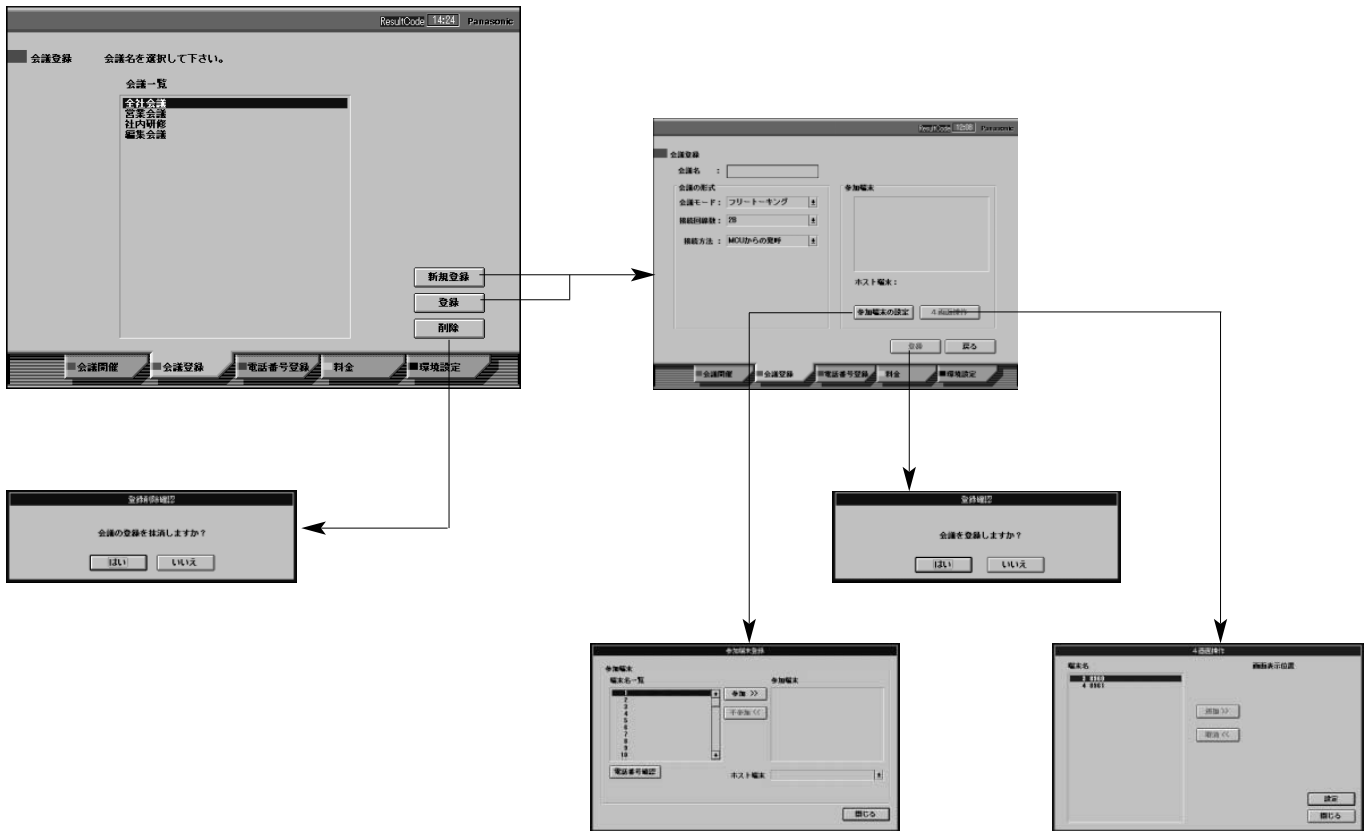
会議の開催・予約登録



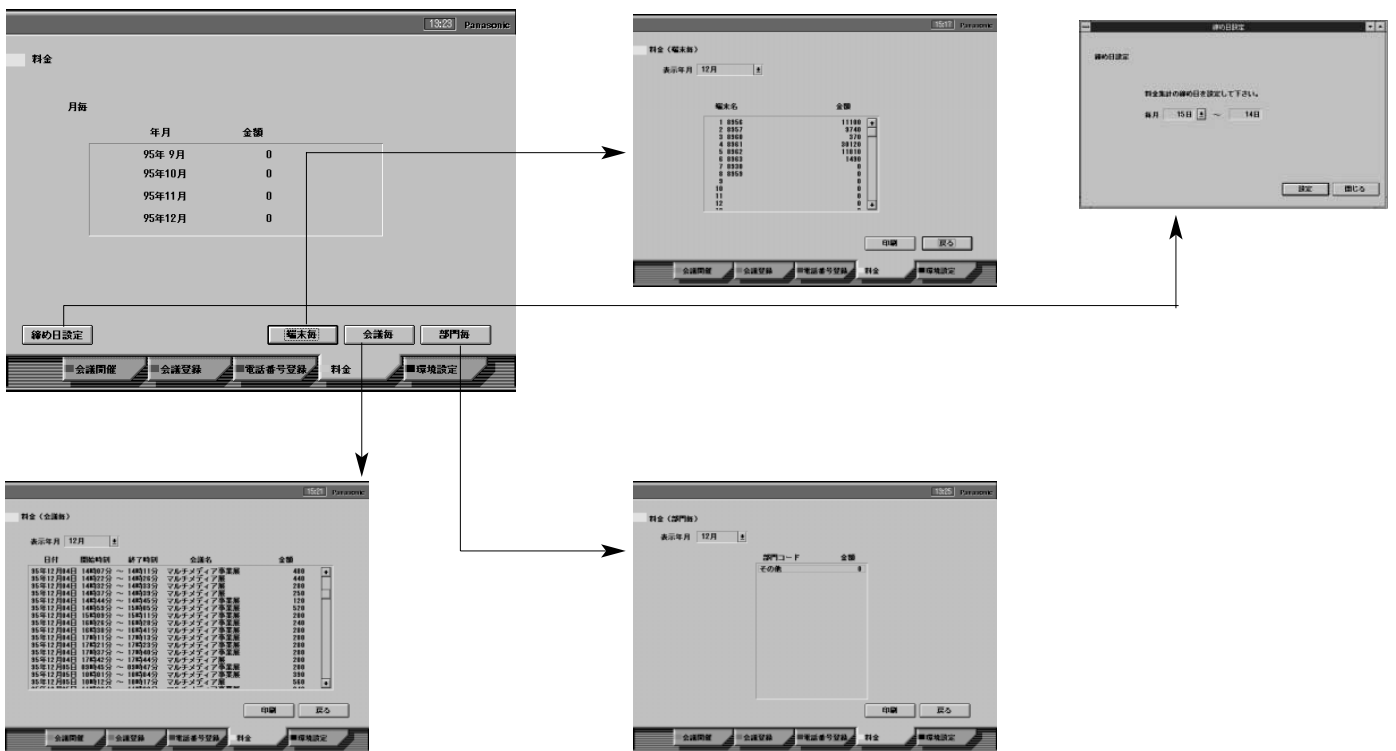


登録・設定画面体系図

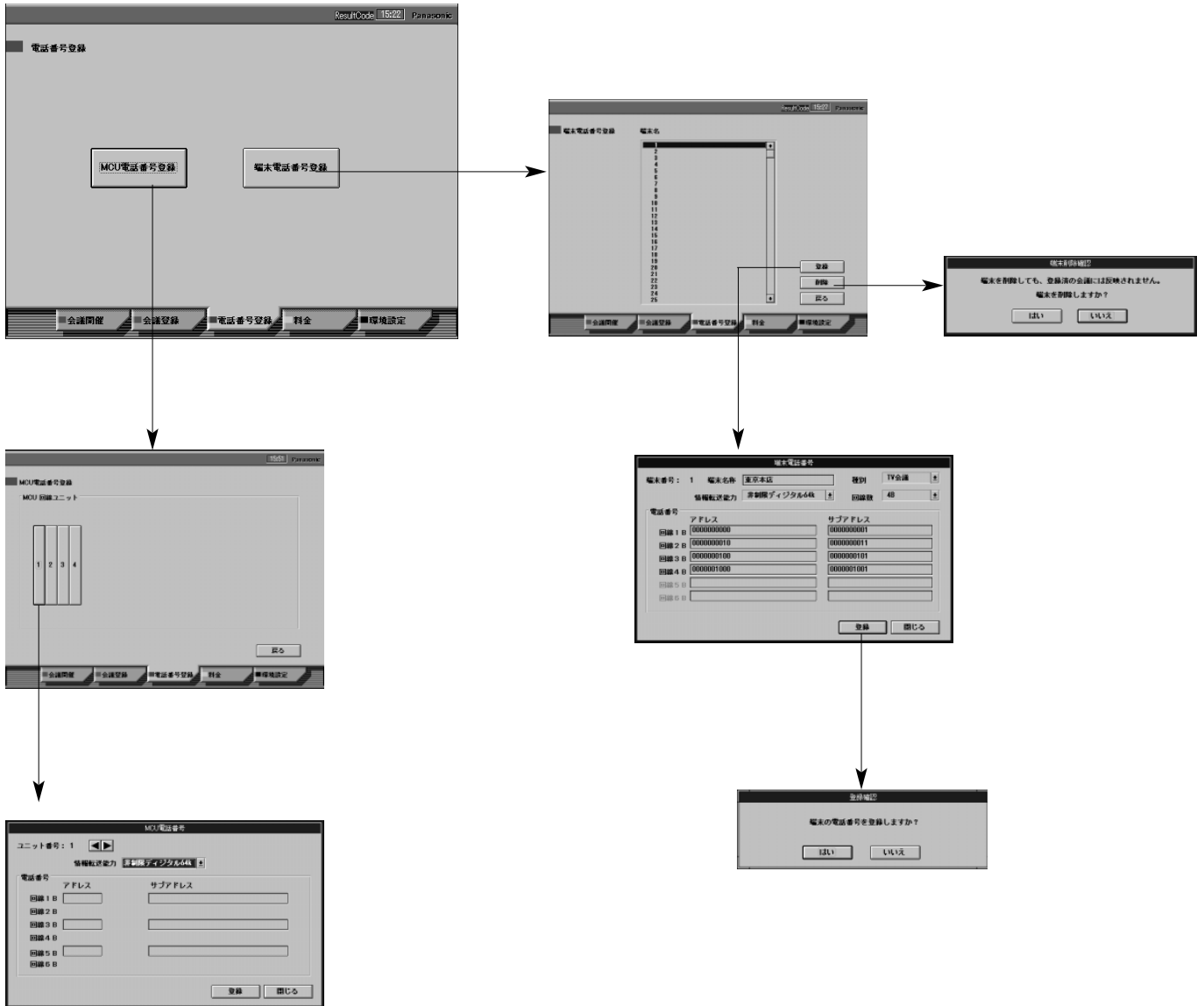
会議の登録



料金の表示



電話番号登録

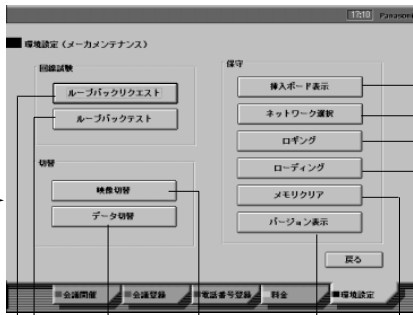
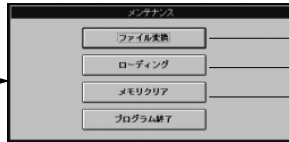
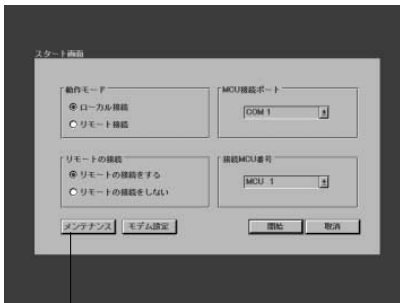


登録・設定画面体系図

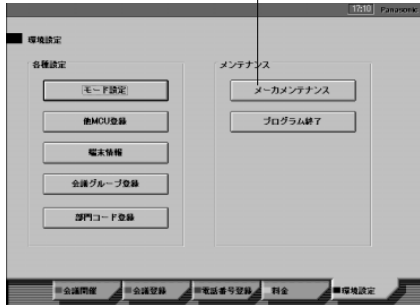
メーカーメンテナンス

お願い：この項目は、メーカーサービスマン専用です。メーカーサービスマン以外、使用しないでください。
誤って操作すると、メーカーサービス時に支障をきたすことがあります。

スタート画面



環境設定



カスケード接続時の所属MCUの考えかた

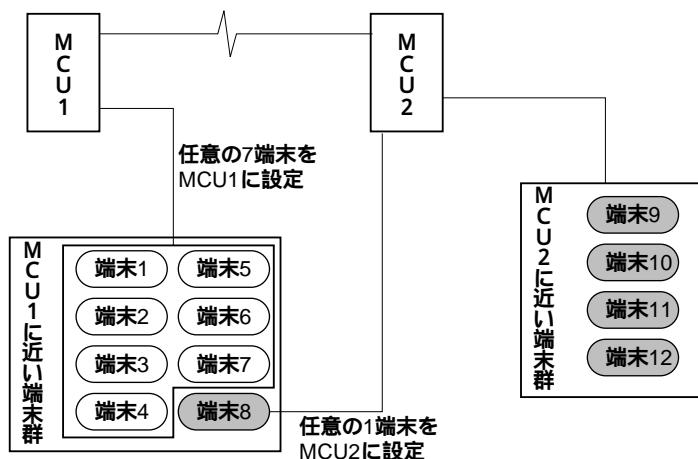
複数台のMCUをカスケード接続する場合、各MCUごとにどの端末に発呼するかあらかじめ設定する(その端末が所属するMCUを設定)必要があります。所属MCUの設定は「環境設定」の「端末情報」で設定します。ここでは、所属MCUを設定する上での考え方について説明します。

例1 8地点用MCU2台をカスケード接続して、12端末で同報会議を行う場合

MCU1に距離が近い端末：端末1～8

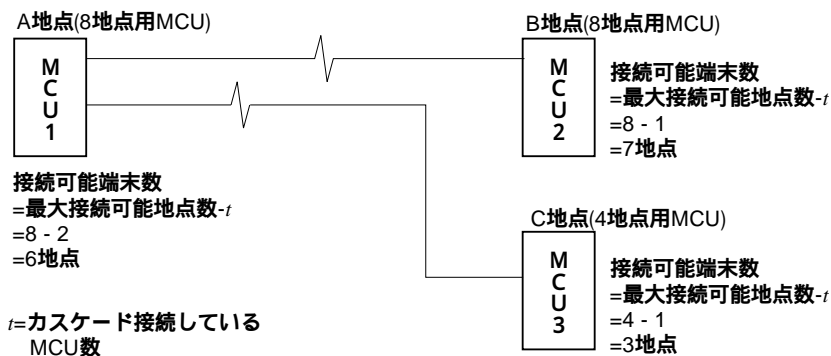
MCU2に距離が近い端末：端末9～12

この場合、MCU1とMCU2をカスケード接続するためにそれぞれISDNコネクタを1ポート使用します。このため、MCU1とMCU2に登録できる端末数は最大7端末までとなります。したがって右図のように設定する必要があります。



例2 MCU3台をカスケード接続する場合

MCU3台をカスケード接続する場合、下図のようになります。それぞれ接続可能な端末数は、カスケード接続しているMCUの数を減じた数となります。

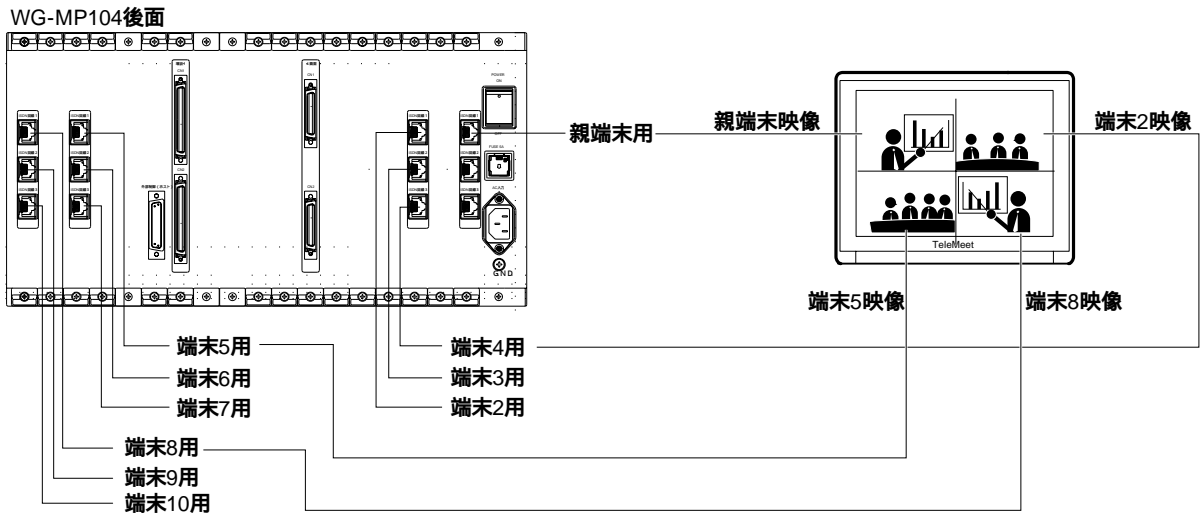


4画面操作を行うときのご注意

MCUに画面分割ユニットが接続されており、パソコンで会議の設定を行う場合4画面内に表示する端末を任意に選択・表示できます。しかし、カスケード接続によるテレビ会議(同報/簡易同報)を行う場合に4画面操作を行うと、希望する映像を4画面表示できなかつたり、カスケード接続されないことがあります。

簡易同報時の4画面映像(カスケード接続無し)

簡易同報会議時に4画面操作を行うと、下図のように各ISDNコネクタ1番上に接続された端末の映像が表示されます(4画面操作はできません)。



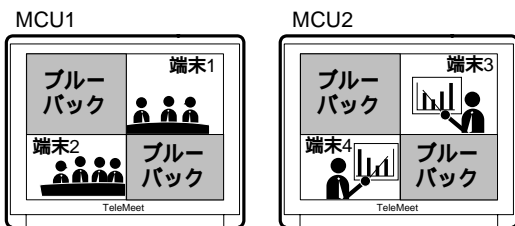
カスケード接続を行う場合

カスケード接続時に4画面操作を行うと下図のように表示されます。

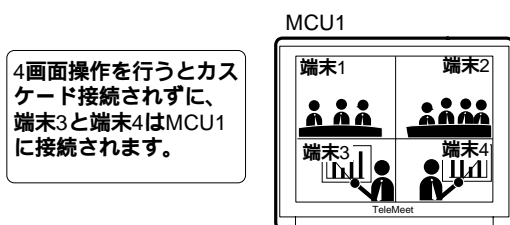
重要

カスケード接続で会議を開催する場合、4画面操作は行わないでください。カスケード接続されない(カスケード接続の設定が無視される)場合があります。会議参加端末の数によっては接続できない端末が発生することがあります。

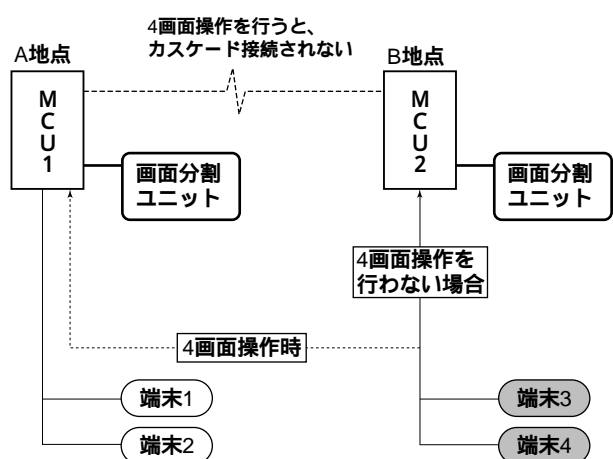
4画面操作を行わない場合



4画面操作を行いMCU2に接続されている端末をMCU1側の端末に表示するように設定した場合



4画面操作を行うとカスケード接続されずに、端末3と端末4はMCU1に接続されます。



未使用ポートがある場合

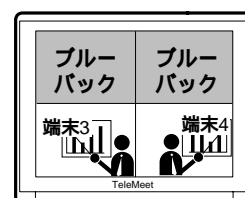
「環境設定」の「モード設定23」で未使用ポートを設定した場合に4画面操作を行うと、未使用ポートに設定した端末の映像は表示されません(未使用ポートに接続されている端末には、発呼しないためです)。

例 ポート1~4に端末を接続している
場合で、ポート1と2を未使用に設定
したとき

4画面操作による設定

端末1	端末2
端末3	端末4

ポート1と2を
未使用に設定



A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page.

定格・付属品

定格

電 源 : AC 100 V 50/60 Hz

消 費 電 力 : 45W

使用温度範囲 : +5 ~ +35

接 続 地 点 数 : 4地点

通 信 速 度 : 64 ~ 384 kbps

回線インターフェース : INSネット64

会 議 モ ー ド : フリートークング / 議長制御 / 同
報 / 端末リクエスト

会議開催方法 : ダイヤルイン / ダイヤルアウト

4 画 面 表 示 : 可(WG-MQ100接続時)

音声検出自動切替 : 可(フリートークング時)

質 量 : 約15 kg

仕 上 げ : AVアイボリー半艶塗装

(マンセル : 7.9Y6.8/0.8 近似色)

寸 法 : 420(幅) × 221(高さ) × 350(奥行き) mm

プロトコル

通 信 : H.221, H.242, H.243, H.230

映 像 : H.261

音 声 : G.711, G.722, G.728

付属品

パソコン接続ケーブル……………1本

モジュラーケーブル……………4本

電源ケーブル……………1本

MCU制御用プログラム……………1枚(FD)

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- 修理は、サービス会社・販売店の「修理相談窓口」へ！

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

修理を依頼される時

66ページの内容に従って確認のあと、直らないときは、まず電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

- 保証期間をすぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 上 げ 年 月 日	年	月	日	品番	WG-MP104
販 売 店 名	電 話 () -				

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N0196-2020

S8QA4148CN